一般社団法人　九州経済連合会

第 64 回定時総会　資料

≪ 決 議 事 項 ≫

第１号議案　　2023 年度 収支決算（案）

第２号議案　　理事・監事 選任（案）

≪ 報 告 事 項 ≫

報告事項１　　2023 年度 事業報告

報告事項２　　2024 年度 事業計画 及び 収支予算

第１号議案

2023年度 収支決算（案）

財 務 諸 表

（2023年4月1日～2024年3月31日）

１．貸借対照表
２．正味財産増減計算書
３．財産目録
４．財務諸表に対する注記
５．収支計算書

一般社団法人　九州経済連合会

1. 貸 借 対 照 表

2024年3月31日現在　　（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ.資 産 の 部			
1.流 動 資 産			
現 金 預 金	80,733,637	90,947,413	△ 10,213,776
立 替 金	89,280	17,669,855	△ 17,580,575
未 収 金	248,290	891,753	△ 643,463
流 動 資 産 合 計	81,071,207	109,509,021	△ 28,437,814
2.固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
基 本 財 産 合 計	0	0	0
(2) 特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 預 金	168,227,000	160,727,000	7,500,000
運 営 準 備 引 当 預 金	182,500,000	162,500,000	20,000,000
周 年 事 業 引 当 預 金	23,000,000	23,000,000	0
減 価 償 却 引 当 預 金	12,320,877	11,415,588	905,289
特 定 資 産 合 計	386,047,877	357,642,588	28,405,289
(3) その他の固定資産			
備 品 什 器	2,532,893	3,438,182	△ 905,289
入 居 保 証 金	10,306,728	10,306,728	0
その他の固定資産合計	12,839,621	13,744,910	△ 905,289
固 定 資 産 合 計	398,887,498	371,387,498	27,500,000
資　産　合　計	479,958,705	480,896,519	△ 937,814
Ⅱ.負 債 の 部			
1.流 動 負 債			
未 払 金	5,336,873	1,436,195	3,900,678
預 り 金	1,360,510	503,731	856,779
流 動 負 債 合 計	6,697,383	1,939,926	4,757,457
2.固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	168,227,000	160,727,000	7,500,000
固 定 負 債 合 計	168,227,000	160,727,000	7,500,000
負　債　合　計	174,924,383	162,666,926	12,257,457
Ⅲ.正 味 財 産 の 部			
1.指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2.一般正味財産			
一般正味財産合計	305,034,322	318,229,593	△ 13,195,271
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(217,820,877)	(196,915,588)	(20,905,289)
正 味 財 産 合 計	305,034,322	318,229,593	△ 13,195,271
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	479,958,705	480,896,519	△ 937,814

2. 正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで　　（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ．一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益			
特定資産受取利息	523,014	333,791	189,223
②受取入会金			
受取入会金	1,400,000	1,200,000	200,000
③受取会費			
受取会費	295,195,000	292,187,500	3,007,500
④雑収益			
雑収益	1,567,368	2,254,516	△ 687,148
経常収益計	298,685,382	295,975,807	2,709,575
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	108,818,488	97,930,419	10,888,069
総会役員会費	8,517,600	5,875,341	2,642,259
会員懇談会費	4,945,028	4,716,293	228,735
委員会費	44,913,925	41,699,176	3,214,749
調査費	2,755,908	3,980,795	△ 1,224,887
刊行費	4,988,879	8,926,698	△ 3,937,819
旅費交通費	8,733,060	8,881,390	△ 148,330
通信費	1,933,815	2,076,650	△ 142,835
図書資料費	1,007,196	505,004	502,192
加盟団体費	2,182,000	2,454,900	△ 272,900
特別事業費	16,075,010	7,800,000	8,275,010
研修費	397,350	127,248	270,102
交際費	311,345	316,020	△ 4,675
印刷費	1,912,954	2,207,042	△ 294,088
消耗品費	203,903	149,229	54,674
諸税	190,658	169,959	20,699
雑費	65,304	158,402	△ 93,098
②管理費			
役員報酬	18,405,050	19,585,910	△ 1,180,860
退職給付費	4,444,000	1,018,000	3,426,000
福利厚生費	24,198,913	21,963,983	2,234,930
家賃	36,005,143	36,068,649	△ 63,506
備品費	9,313,253	9,678,847	△ 365,594
修繕費	3,156,582	7,135,016	△ 3,978,434
減価償却費	905,289	905,289	0
経常費用計	304,380,653	284,330,260	20,050,393
当期経常増減額	△ 5,695,271	11,645,547	△ 17,340,818

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金取崩	4,444,000	1,000,000	3,444,000
経常外収益計	4,444,000	1,000,000	3,444,000
(2) 経常外費用			
退職給付引当金繰入	11,944,000	9,760,000	2,184,000
経常外費用計	11,944,000	9,760,000	2,184,000
当期経常外増減額	△ 7,500,000	△ 8,760,000	1,260,000
当期一般正味財産増減額	△ 13,195,271	2,885,547	△ 16,080,818
一般正味財産期首残高	318,229,593	315,344,046	2,885,547
一般正味財産期末残高	305,034,322	318,229,593	△ 13,195,271
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高	305,034,322	318,229,593	△ 13,195,271

3. 財　産　目　録

2024年3月31日現在　　（単位：円）

	金	額	
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
現金			
現金手許有高	498,113		
当座預金			
福岡銀行本店営業部他	72,867,118		
普通預金			
宮崎銀行福岡支店他	7,368,406		
立替金			
(一社)九州MaaS協議会運営費	89,280		
未収金			
第74回九州経済懇談会各社負担分他	248,290		
流動資産合計		81,071,207	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0		
(2) 特定資産			
退職給付引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	168,227,000		
運営準備引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	182,500,000		
周年事業引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金	23,000,000		
減価償却引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	12,320,877		
特定資産合計	386,047,877		
(3) その他固定資産			
備品什器			
応接室内内装工事、LAN設備他	2,532,893		
入居保証金			
電気ﾋﾞﾙ共創館入居保証金	10,306,728		
その他固定資産合計	12,839,621		
固定資産合計		398,887,498	
資産合計			479,958,705
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
3月分社会保険料他	5,336,873		
預り金			
3月分給与における源泉所得税他	1,360,510		
流動負債合計		6,697,383	
2. 固定負債			
退職給付引当金	168,227,000		
固定負債合計		168,227,000	
負債合計			174,924,383
正味財産合計			305,034,322

4. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)を採用している。
(2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産(備品什器)は、定額法による減価償却を実施している。
(3) 引当金の計上基準
引当金の計上基準については、それぞれ以下の金額を計上している。
・退職給付引当金・・・・・役員並びに職員の期末自己都合要支給額の100%
(4) リース取引の処理方法
・ファイナンス・リース取引
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
(5) 消費税等の会計処理
消費税は税込み処理を選択している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金積立金	0	0	0	0
小　　計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	160,727,000	11,944,000	4,444,000	168,227,000
運営準備引当預金	162,500,000	20,000,000	0	182,500,000
周年事業引当預金	23,000,000	0	0	23,000,000
減価償却引当預金	11,415,588	905,289	0	12,320,877
小　　計	357,642,588	32,849,289	4,444,000	386,047,877
合　　計	357,642,588	32,849,289	4,444,000	386,047,877

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	168,227,000	0	0	168,227,000
運営準備引当預金	182,500,000	0	182,500,000	0
周年事業引当預金	23,000,000	0	23,000,000	0
減価償却引当預金	12,320,877	0	12,320,877	0
小　　計	386,047,877	0	217,820,877	168,227,000
合　　計	386,047,877	0	217,820,877	168,227,000

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備品什器			
備品什器	14,853,770	12,320,877	2,532,893
合　　計	14,853,770	12,320,877	2,532,893

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

有 価 証 券 （証 券 会 社）	帳簿価額	時　　価	評価損益
福岡県令和4年度第1回公募公債（野村証券㈱）	20,000,000	19,411,000	△ 589,000
福岡市2022年度第8回公募公債（野村証券㈱）	10,000,000	10,024,940	24,940
モルガン・S 株価指数連動債（みずほ証券㈱）	50,000,000	48,245,000	△ 1,755,000
福岡県令和5年度第1回公募公債（みずほ証券㈱）	10,000,000	9,952,000	△ 48,000
福岡県R3年度第3回公募公債（MUMS証券㈱）	30,000,000	28,956,000	△ 1,044,000
福岡県R4年度第1回公募公債（MUMS証券㈱）	10,000,000	9,708,400	△ 291,600
福岡県令和5年度第1回公募公債（MUMS証券㈱）	10,000,000	9,932,800	△ 67,200
合　　計	140,000,000	136,230,140	△ 3,769,860

５．　収　　支　　計　　算　　書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	予　算　額	決　算　額	差　　異	備　　考
Ⅰ．事業活動収支の部				
１．事業活動収入				
特定資産運用収入				
特定資産利息収入	450,000	523,014	△ 73,014	
入会金収入				
入会金収入	1,500,000	1,400,000	100,000	入会30社
会費収入				
会費収入	294,770,000	295,195,000	△ 425,000	退会35社
雑収入				
受取利息収入	10,000	180	9,820	
その他収入	1,350,000	1,567,188	△ 217,188	広告掲載料、事務委託費
事業活動収入計(A)	**298,080,000**	**298,685,382**	**△ 605,382**	
２．事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	106,100,000	108,818,488	△ 2,718,488	職員採用、昇給
総会役員会費支出	5,700,000	8,517,600	△ 2,817,600	参加者増による会場費
会員懇談会費支出	4,800,000	4,945,028	△ 145,028	
委員会費支出	47,800,000	44,913,925	2,886,075	オンライン会議への変更他
調査費支出	2,000,000	2,755,908	△ 755,908	台湾視察（臨時）
刊行費支出	4,300,000	4,988,879	△ 688,879	四季報増ページ
旅費交通費支出	9,400,000	8,733,060	666,940	
通信費支出	2,200,000	1,933,815	266,185	
図書資料費支出	1,000,000	1,007,196	△ 7,196	
加盟団体費支出	2,500,000	2,182,000	318,000	
特別事業費支出	13,000,000	16,075,010	△ 3,075,010	ツール・ド・九州負担金、能登義援金
研修費支出	500,000	397,350	102,650	
交際費支出	600,000	311,345	288,655	
印刷費支出	2,800,000	1,912,954	887,046	ペーパレス推進
消耗品費支出	600,000	203,903	396,097	
諸税支出	300,000	190,658	109,342	
雑支出	200,000	65,304	134,696	
事業費支出計(B)	**203,800,000**	**207,952,423**	**△ 4,152,423**	
管理費支出				
役員報酬支出	19,000,000	18,405,050	594,950	役員途中交代
退職給与費支出	0	4,444,000	△ 4,444,000	１名
福利厚生費支出	23,300,000	24,198,913	△ 898,913	給与に連動
家賃支出	35,900,000	36,005,143	△ 105,143	
備品費支出	9,000,000	9,313,253	△ 313,253	新規ライセンス料
修繕費支出	1,900,000	3,156,582	△ 1,256,582	事務所ﾚｲｱｳﾄ変更
管理費支出計(C)	**89,100,000**	**95,522,941**	**△ 6,422,941**	
事業活動支出計(D)=(B)＋(C)	**292,900,000**	**303,475,364**	**△ 10,575,364**	
事業活動収支差額(E)＝(A)-(D)	**5,180,000**	**△ 4,789,982**	**9,969,982**	

（単位：円）

科　　目	予　算　額	決　算　額	差　　異	備　　考
Ⅱ．投資活動収支の部				
１．投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給付費引当預金取崩収入	0	4,444,000	△ 4,444,000	1名分充当
投資活動収入計(F)	**0**	**4,444,000**	**△ 4,444,000**	
２．投資活動支出				
特定資産取得支出				
運営準備引当預金取得支出	0	20,000,000	△ 20,000,000	市債購入
退職給付引当預金取得支出	11,000,000	11,944,000	△ 944,000	
減価償却引当預金取得支出	900,000	905,289	△ 5,289	
投資活動支出計(G)	**11,900,000**	**32,849,289**	**△ 20,949,289**	
投資活動収支差額(H)＝(F)-(G)	**△ 11,900,000**	**△ 28,405,289**	**16,505,289**	
Ⅲ．財務活動収支の部				
１．財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計(I)	**0**	**0**	**0**	
２．財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計(J)	**0**	**0**	**0**	
財務活動収支差額(K)＝(I)-(J)	**0**	**0**	**0**	
Ⅳ．予備費支出				
予備費支出(L)	0	0	0	
当期収支差額(M)＝(E)＋(H)＋(K)-(L)	**△ 6,720,000**	**△ 33,195,271**	**26,475,271**	
前期繰越収支差額(N)	**107,569,095**	**107,569,095**	**0**	
次期繰越収支差額(O)＝(M)＋(N)	**100,849,095**	**74,373,824**	**26,475,271**	

（注）　１．収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申し合わせ）に示された3区分の様式により作成している。
２．借入金限度額（該当なし）
３．債務負担額（該当なし）

収支計算書に対する注記

１．重要な会計方針
資金の範囲について・・・現金預金、立替金、未収金、未払金、預り金を含める。

２．次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期末残高
現金預金	90,947,413	80,733,637
立 替 金	17,669,855	89,280
未 収 金	891,753	248,290
合　　計	109,509,021	81,071,207
未 払 金	1,436,195	5,336,873
預 り 金	503,731	1,360,510
合　　計	1,939,926	6,697,383
次期繰越収支差額	107,569,095	74,373,824

監　査　報　告　書

私どもは、一般社団法人九州経済連合会の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度における財産の状況および理事の業務執行の状況を監査しましたので、これについて次のとおり報告いたします。

財産の状況については、2023年度の財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録）、ならびに収支計算書等を慎重に検討し、また、理事の業務執行の状況について、理事会等に出席し、必要に応じ報告および説明を徴することにより、監査を行いました。

その結果、
(1)　財産の状況に関し、2023年度の財務諸表は、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めます。
(2)　理事の業務執行に関し、不正の行為、または法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

2024年　4月 18 日

一般社団法人　九州経済連合会

監　事　酒見俊夫

監　事　根本浩二

第２号議案

理事・監事 選任（案）

定款第 21 条第 1 項に基づく理事・監事の退任、および選任の件について以下のとおりお諮りしたい。

（敬称略）

【理　事】

〇退任理事（3 名）

大　嶺　　満（おおみね　みつる）	沖　縄　電　力 ㈱	会　　長
永　田　　理（ながた　おさむ）	トヨタ自動車九州㈱	前　社　長
神　田　一　成（こうだ　いちなり）	㈱　山　口　銀　行	会　　長

〇選任理事（3 名）

本　永　浩　之（もとなが　ひろゆき）	沖　縄　電　力 ㈱	社　　長
長　木　哲　朗（ちょうき　てつろう）	トヨタ自動車九州㈱	社　　長
椋　梨　敬　介（むくなし　けいすけ）	㈱山口フィナンシャルグループ	社　　長

【監　事】

〇退任監事（2 名）

酒　見　俊　夫（さけみ　としお）	西部ガスホールディングス㈱	取締役相談役
根　本　浩　二（ねもと　こうじ）	㈱ＮＴＴドコモ	執行役員 九州支社長

〇新任監事（2 名）

道　永　幸　典（みちなが　ゆきのり）	西部ガスホールディングス㈱	会　　長
和　田　あずさ（わだ　あずさ）	㈱ＮＴＴドコモ	サービスマネジメント部 部長

（2024 年 6 月 14 日 同社 執行役員 九州支社長 就任予定）

以　上

報告事項１

2023 年度

事 業 報 告

第　63　号

一般社団法人　九州経済連合会

目　次

はじめに・・ **2**

Ⅰ　主な活動・・ **3**
【戦略１】地域共創 with コロナ
① コロナ対応
【戦略２】ありたい姿実現に向けたチャレンジ
② リーディング産業
③ イノベーション・DX
④ カーボンニュートラル
⑤ 地域の「稼ぐ力」を高める
⑥ 人の流れをつくる
⑦ 多様な人材が能力を発揮できる
⑧ 安心して暮らし続けられる
【戦略３】みらいへの投資（基盤整備）
⑨ データ駆動型社会
⑩ インフラネットワーク
⑪ 海外展開プラットフォーム
⑫ 構造的賃上げ

＜2023 年度　主な事業の KPI＞

Ⅱ　総会・役員会等・・**12**
総会、理事会、役員会等
会員懇談会等

Ⅲ　委員会活動・・**14**
資源エネルギー・環境委員会
産業振興・デジタル推進委員会
地域共創委員会
交通委員会
関門連携委員会
地域委員会

Ⅳ　国内外の団体等との活動・経済交流等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**20**
九州地域戦略会議
経済団体等との懇談
海外との経済交流

Ⅴ　関連団体活動・・**24**
西日本経済協議会
九州航空宇宙開発推進協議会
知的財産権研究会
九州 IR 推進協議会
九州国際医療機構
九州の食輸出協議会
東九州軸推進機構
下関北九州道路建設促進協議会
九州経済国際化推進機構
福岡地域戦略推進協議会
九州大学学術研究都市推進協議会
九州エネルギー問題懇話会
九州・沖縄地方産業競争力協議会
九州・沖縄文化力推進会議
九州 DX 推進コンソーシアム

Ⅵ 事務局の取組 ・・**29**

Ⅶ 本会要望・意見等 ・・**30**

はじめに

本会では、2021 年 4 月の創立 60 周年を機に公表した、『九州将来ビジョン 2030』（共生・共感・共創アイランド九州～成長と心の豊かさをともに～）に基づき、2023 年度は中期計画（2021～23 年度）の最終年として、【３つの戦略】を活動方針の柱として事業活動に取り組んだ。

【戦略 1】地域共創 with コロナ

2023 年 5 月の新型コロナウイルス感染症の 5 類移行により所期の目的を達成。九州経済の V 字回復に向け、戦略 2 および戦略 3 へ軸足を移行した。

【戦略 2】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

九州における旺盛な半導体関連投資や、DX・GX を推進するための取組が進められていることを踏まえ、本会活動においても、リーディング産業の育成や、イノベーションの活発化、地域創生に重点を置いた取組を加速した。

具体的には、“リーディング産業”事業として、半導体産業基盤の強化に向けたオール九州での戦略展開のために、産官学金での協議開始を九州地域戦略会議において決定し（2023.10 月）、ビジョンや課題の整理を行った。また、“イノベーション・DX”事業として、大学シーズへのギャップ資金拠出（6,300 万円）、“地域の「稼ぐ力」を高める”事業として、海外 5 ヵ国・地域での九州フェア開催を行った。そして、“人の流れをつくる”事業として、ツール・ド・九州の 2023 年第 1 回大会を開催した（2023.10 月）。また、“多様な人材が能力を発揮できる”事業として、夏季セミナーにおいてジェンダー主流化を議論し（2023.8 月）、“安心して暮らし続けられる”事業として、九州防災ＤＸタスクフォースを設立するなど、様々な取組を推進した。

【戦略 3】みらいへの投資（基盤整備）

基盤整備については、“データ駆動型社会“事業として、官民による「九州広域データ連携プラットフォーム検討会」を発足し（2023.8 月）、“インフラネットワーク“事業として、九州地域戦略会議において九州 MaaS の協議会設立等の計画が承認された（2023.10 月）。また、“海外展開プラットフォーム“事業として、ベトナム経済交流ミッションの受入（2023.10 月）、タイヘルスケアミッション（2024.3 月）の受入を行った。

原材料・エネルギー価格高騰、円安、物価上昇や、人手不足の深刻化など、厳しい経済環境が続いている一方で、半導体関連の設備投資や賃上げなど明るい動きがある。九州から改革・イノベーションをいかに起こすか、会員の皆様と知恵を絞りながら、引き続き「九州から日本を動かす」モデルとなる先導的な取組を進めていきたい。

Ⅰ 主な活動

【戦略１】地域共創 with コロナ

① コロナ対応

2023 年 5 月の新型コロナウイルス感染症の５類移行により所期の目的を達成。
九州経済のＶ字回復に向け、戦略２および戦略３へ軸足を移行。

【戦略２】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

② リーディング産業



2023.10 月 九州地域戦略会議

・半導体産業基盤の強化に向けたオール九州での戦略展開

- 九州地域戦略会議において、産官学金での協議開始を決定（2023.10月）
- 産官学金各分科会にてビジョンを検討、課題を整理（2024.1～3月）
- 九経連会員と連携した「九州半導体人材育成等コンソーシアム（事務局：九州経済産業局）」の活動を支援

・航空宇宙産業の市場創出・拡大

- 九州航空宇宙開発推進協議会（産学官13名の委員で構成） 総会にて、 第3次アクションプランを展開した事業計画を承認・始動（2023.7月）

【トピックス①】 国内投資拡大のための官民連携フォーラム

・2023 年４月、首相官邸にて、標記フォーラムが開催された。
・会合には、岸田文雄首相、西村康稔経済産業相ら関係閣僚のほか、経団連や各地の経済団体トップが参加した。
・本会からは倉富純男会長が出席。シリコンアイランド九州の復活の動きを報告し、工業用水や交通ネットワークの早期整備、国際的な教育・子育て環境整備などに対する国の支援を求めた。



2023. 4 月 国内投資拡大のための官民連携フォーラム

③ イノベーション・DX



2024.2 月 九州・大学発ベンチャー振興会議

・切れ目のないスタートアップ支援体制の構築

- 13大学27シーズにギャップ資金6,300万円を提供
  （九州・大学発ベンチャー振興会議）
  （2024.2月）

・九州が一体となった DX の実践

- 地域企業のDX実践として、25社の課題発掘から戦略策定までの伴走支援を実施 （2023.4～2024.3月）
- ICT人材育成として、7大学20名の学生と11社をマッチングしインターンシップを実施 （2023.7～12月）

【トピックス②】 先導的 ICT 人材育成事業「実践インターンシップ」

・九州におけるICT関連の研究開発の活性化や、優秀なICT人材の輩出を目的として、2007年度より「先導的ICT人材育成事業」に取り組んでいる。
・本事業では、「実践力のあるICT人材」、「産業界や社会を改革するリーダーとなる人材」の育成を目指しており、具体的な取組として、「実践重視のインターンシップ」を進めている。
・17年目の取組となる今年度は、企業11社の協力のもと、北九州市立大学、九州大学、九州産業大学、九州工業大学、福岡大学、福岡工業大学から計20名の大学院生・学部生が参加した。



④ カーボンニュートラル



2024.2 月 ESG 投融資推進会議

・地域企業の脱炭素経営の推進

- 「九州・沖縄・山口ESG投融資推進会議」において、投融資実績に基づいた方向性を検討 （2024.2月）

・官民連携による地域脱炭素の推進

- 地域脱炭素の実現に向けた地方公共団体と企業のマッチングイベントを共催（熊本、沖縄） （2023.11月）

【トピックス③】 地域脱炭素の実現に向けた地方公共団体×企業とのマッチングイベント

九州の豊かな地域資源を最大限活用し、脱炭素・自然共生・循環型社会の実現を目指す「地域循環共生圏」の構築に向けた相互の取組を補完し、地域及び持続可能な地方創生への対応力を一層強化するため、前年に引き続き、地域脱炭素の実現に向けた九州・沖縄の地方公共団体と企業とのマッチングイベントを熊本と沖縄で開催。

＜参加者＞

熊本会場： 自治体 １１団体、企業等 ３２社 （前年比＋１０２名）



⑤ 地域の「稼ぐ力」を高める



2023.11 月 九州フェア（台湾）



2024.3 月　中山間地域スマート農業導入モデル策定

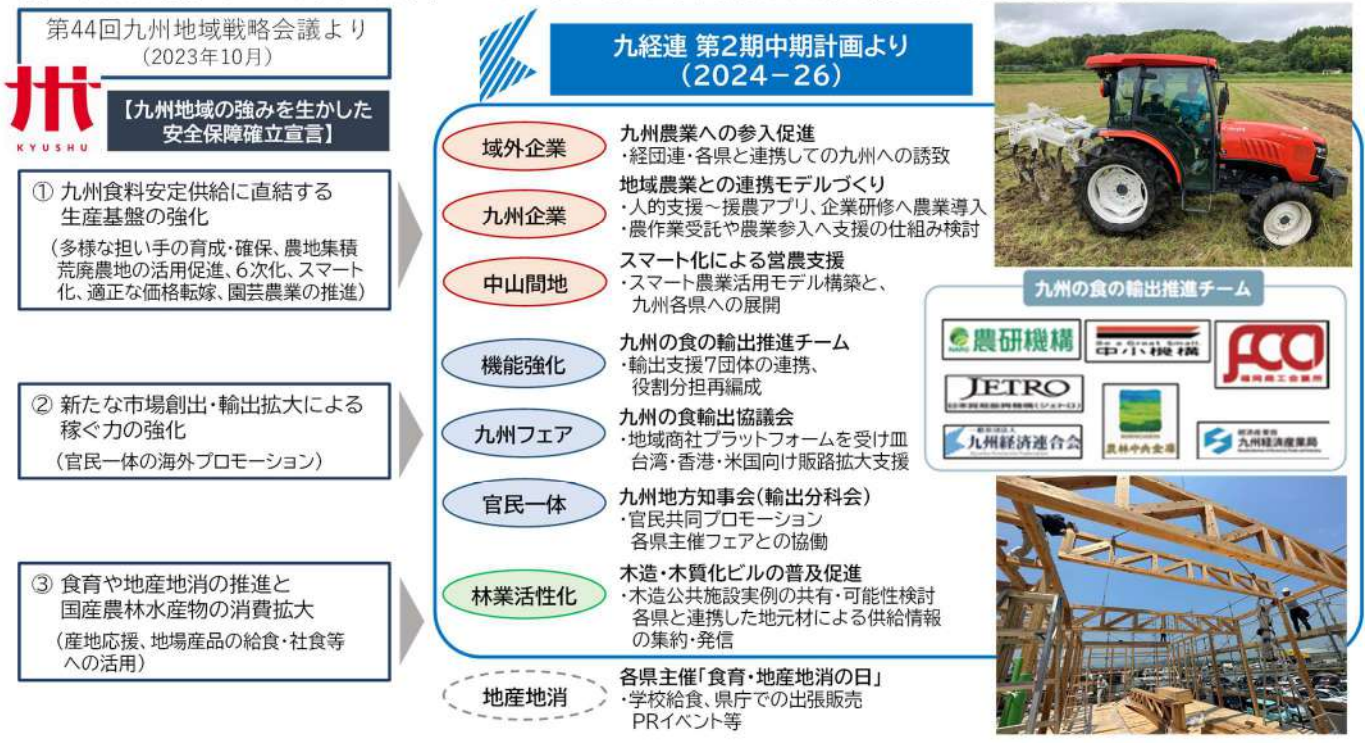
・魅力ある九州の「農林水産業活性化共創モデル」づくりへのチャレンジ

- 海外での九州フェアを開催
  （イオン マレーシア・カンボジア、台湾 大潤發、
  香港 デイリーファーム、米国 PPIH 等）
- 九州各県と連携し、企業の農業参入セミナーを経団連と共催（経団連会館、参加者134名）　（2023.10月）
- 中山間地域のスマート農業導入モデルを策定
  (鹿児島県にて実施。労働時間削減効果など生産者メリットを見える化)
- 農業体験者の拡大（援農アプリの企業としての活用、２社19名のボランティア派遣を実施）
  （2023.7月～）
- モクビル研究会を開催、サプライチェーンと業種横断のネットワーク構築を推進（2023.5・10・11月、2024.3月）

・「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」の九州を実現する観光 SDGs 推進

- 第三期九州観光戦略を策定し、九州地域戦略会議にて承認
  （2023.5月）
- 同戦略の第一次アクションプランを策定　（2023.10月）

【トピックス④】 食料の安全保障 ～フードアイランド九州の更なる推進に向けた取組強化



⑥ 人の流れをつくる



2023.10 月 ツール・ド・九州 2023

・「ツール・ド・九州 2023」の開催

- 第１回大会（福岡・熊本・大分）を実施
  観客数88千人、経済波及効果26.1億円
  （2023.10月）

- 大会をフックとした地域貢献事業
  【高校生向け探究学習プログラム「locus」】を実施
  （2023.5～2024.1月）

・九州・長崎 IR の早期開業へ向けた取組への協力

- ＩＲ審査委員会から「不認定」の発表
  （2023.12月）

・地域を支える担い手と関係人口拡大に資する活動

- うきは）地方創生事業提案　肝付）宇宙まちづくり課連携
  指宿）インバウンド商品組成
  （2023.5～2024.2月）

- 食品ロスの削減、耕作放棄地の活用、周遊の促進に向けた提案を実施（福岡県うきは市）　（2023.9月）

【トピックス⑤】「ツール・ド・九州 2023」を通じた地域貢献や SDGs への取組

・次世代を担う若者の地域理解

探究学習プログラム「locus」:開催県の高校生 15 校 623 名参加
自転車の出前セミナー:訪問小中学校 11 校 1,207 名参加

・クリーンエネルギー活用による環境負荷低減

水素自動車８台、EV 車４台を大会競技車両として使用

・豊かな自然が育む水資源の保護・発信

南阿蘇の 420ha に広がる「天然水の森」由来のミネラルウォーターを大会公式飲料として採用

・デジタル技術を用いた防災の実証実験

デジタルプラットフォームを活用した地域の防災通報システムの実証



⑦ 多様な人材が能力を発揮できる



2023.8 月 夏季セミナー

・ジェンダー不平等を乗り越えるための官民一体の取組

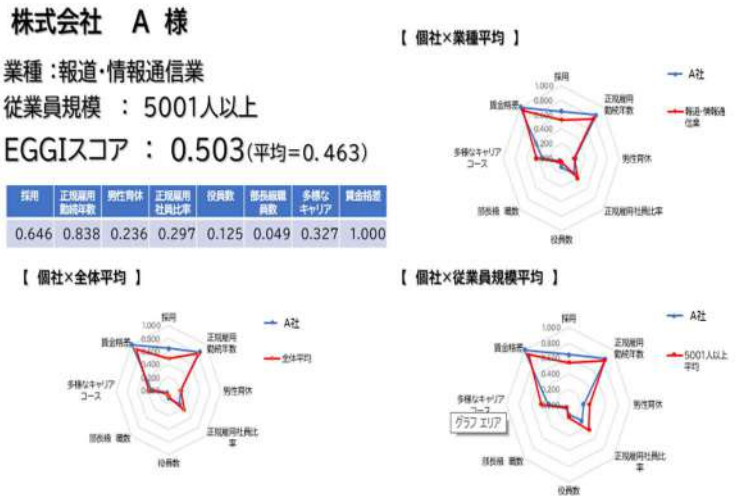
- 「ジェンダー主流化」機運醸成（夏季セミナー）（2023.8月）
- 「企業版ｼﾞｪﾝﾀﾞｰｷﾞｬｯﾌﾟ指数」会員調査 （2023.11月）
- ながさき女性活躍推進会議×沖縄県経営者協会女性リーダー部会による意見交換会 （2024.1月）

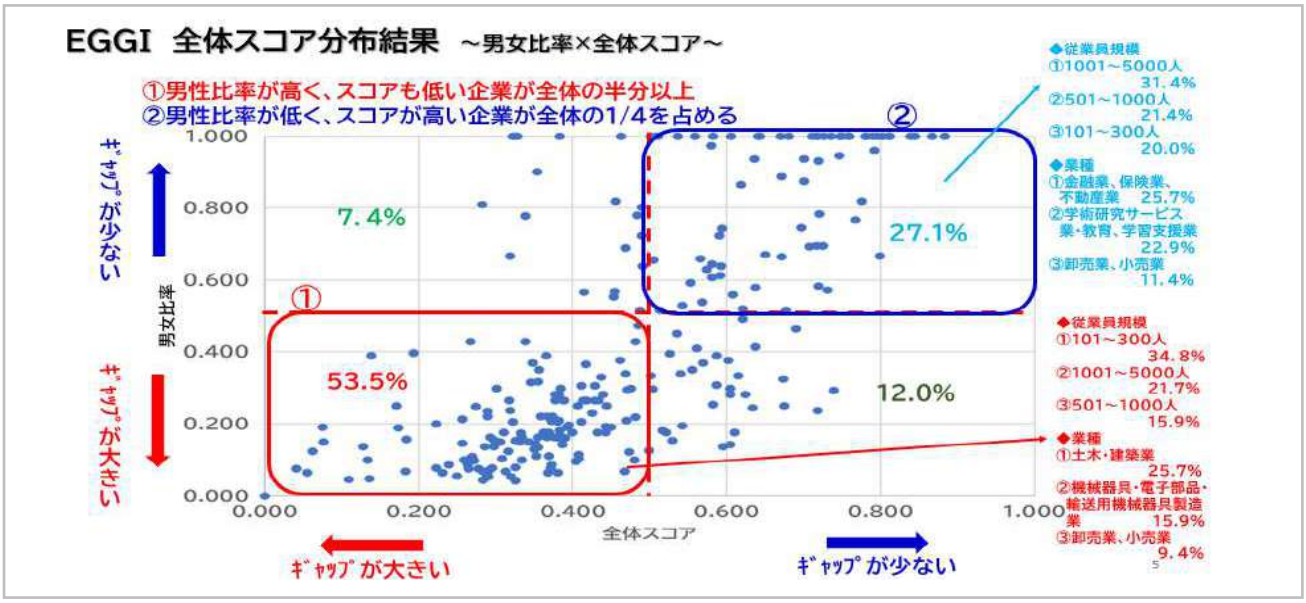
・産業競争力強化に向けた高度外国人材の獲得に資する取組

- 「国内投資拡大のための官民連携フォーラム」にて インターナショナルスクールの環境整備を要望（2023.4 月）
- 高度外国人材の九州域内就職率の向上へアンケート等 （2023.7～11月）
- 「九州高度外国人材活躍地域コンソーシアム」発足 【構成機関】 九州 7 県、九州経済産業局、JETRO 福岡、九州経済国際化推進機構 九州経済連合会（2024.1 月）

【トピックス⑥】「企業版ジェンダーギャップ指数」

・会員企業のジェンダーギャップの現状を分析するための指標を策定。（261 社（会員のうち約 39%）が回答）
・EGGI スコア 全体平均＝0.463
・全体、業種別、従業員規模別平均と比較。
・分析の詳細については、四季報 2024 年春号特集に掲載。
・四季報掲載の連絡とあわせ 261 社へ個社別にフィードバック送信。（2024. 4 月）





⑧ 安心して暮らし続けられる



2023.8 月 九州防災 DX タスクフォース
設立記者会見

・デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、モデルプロジェクトの検討・実施

- 会員企業4社と「九州防災ＤＸタスクフォース」を設立（2023.8月）

・自動運転「レベル４」解禁に伴う社会実装プロジェクトの取組強化

- 国土交通省物流・自動車局などを講師に、自治体・事業者向けの自動運転セミナーを開催（2023.12月）

・「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取組

- 九州地域戦略会議・次世代育成PTの活動支援（会員向け情報提供など）（2023.10月、12月）

【トピックス⑦】 九州防災 DX タスクフォース 取組

1. 災害情報活用の高度化、共同利用による広域連携の実証・実装
   ・大分・宮崎県にて「PREIN」を活用し、概念実証を実施（2023.9 月）
   ・九州地域戦略会議安心・安全 PT 全県合同勉強会にて報告（2024.1 月）
2. 雷による瞬低・瞬停リスク低減のための落雷予測技術の有効性検証
   ・内閣府 BRIDGE プログラムの対象施策として防災科研、I-レジリエンス、中電シーティーアイ、九経連、SIIQ の連名でプレスリリース（2023.10 月）
   ・実証に向けて半導体工場へのヒアリング実施（2023.12～2024.2 月）
3. タスクフォース会員企業のリソースを活用したサービスの企画・検討



【戦略３】みらいへの投資（基盤整備）

⑨ データ駆動型社会

・「スマートリージョン構想」の推進

- 官民による「九州広域データ連携プラットフォーム（ＱＤＰ）検討会」を8月に発足し、計4回開催（2023.8～2024.3月）
- QDPを活用したユースケースアイデアを公募（2023.12～2024.2月）

⑩ インフラネットワーク



2023.5 月　九州地域戦略会議

・九州 MaaS のグランドデザイン、並びに協議会設立計画の承認

- 九州地域戦略会議にてグランドデザイン承認（2023.5月）
- 「九州MaaS実行組織準備会」設置（2023.7月）
- 九州地域戦略会議において「共通PFのﾍﾞﾝﾀﾞｰ優先交渉権者」「官民負担の基本枠組」「協議会設立」等を承認（2023.10月）

【トピックス⑧】 地域公共交通ネットワークの維持及び観光活性化に資する「九州 MaaS」の実装に向けた「九州 MaaS 実行組織準備会」による「九州 MaaS 協議会」の設立準備と主な協議内容

・「九州プロジェクト MaaS 研究会」の「準備会」移行	（第１回九州 MaaS 実行組織準備会 2023. 7 月）
・機運醸成講演・サービスプラットフォーム選定関連	（第２回九州 MaaS 実行組織準備会 2023. 8 月）
・費用負担協議・サービスプラットフォーム選定関連	（第３回九州 MaaS 実行組織準備会 2023. 9 月）
・第 44 回九州地域戦略会議付議事項	（第４回九州 MaaS 実行組織準備会 2023.10 月）
・費用負担協議	（臨時開催 九州 MaaS 実行組織準備会 2023.10 月）
・協議会スキーム協議	（第５回九州 MaaS 実行組織準備会 2023.11 月）
・自動運転セミナー・協議会スキーム協議	（第６回九州 MaaS 実行組織準備会 2023.12 月）
・協議会スキーム協議	（第７回九州 MaaS 実行組織準備会 2024. 1 月）
・協議会スキーム協議・創立総会付議事項	（第８回九州 MaaS 実行組織準備会 2024. 2 月）
・「九州 MaaS 協議会」 創立総会(2024.3.11)	（第９回九州 MaaS 実行組織準備会 2024. 3 月）
・創立総会報告・臨時総会付議事項	



研究会から準備会への移行会議



第３回準備会@大分



官側の議論の様子



民側の議論の様子



自動運転セミナー



プロモーション WG



データ利活用 WG



サービスコンテンツ WG



創立総会の様子



創立総会後の記念撮影

⑪ 海外展開プラットフォーム



ベトナム経済セミナー


機構ブースを視察する
ベトナム外務副大臣


タイヘルスケア商談会


特別養護老人ホーム視察

・広域連携を活かしたアジアとの繋がりの強化

- ベトナム経済交流ミッション受入（外務副大臣との懇談）
  日越外交関係樹立50周年事業としてベトナム外務副大臣を筆頭とするミッションを受け入れ、九州の情報や産品等を広くPRするため九州経済国際化推進機構がブースを出展
  （2023.10月）
- 九州・タイヘルスケアミッション受入（福岡、飯塚、大分）
  タイの高齢化の進行に伴い同国で拡大しているヘルスケア関連分野市場への九州企業の進出の契機となることを目指しタイからのミッションを迎え、九州企業との商談会や九州企業の機器・サービス・医療現場などの視察事業を実施
  （2024.3 月）

【トピックス⑨】「日越ビジネスラウンドテーブル広島」に倉富会長が参加

・2023 年 5 月、G 7 広島サミット開催に合わせてベトナムよりチン首相が来日し、同国政府高官他関係者も多数参加して標記会合が開催された。
・九州・中国地方の経済界や自治体のトップが招かれ、本会の倉富会長も出席。九州とベトナムとの経済交流の現状についてスピーチを行い、ハノイに開設した KPC（九州プロモーションセンター）についてチン首相らに対し PR を行った。


2023.5 月　チン首相来日

⑫ 構造的賃上げ


2024.3 月　九州経済懇談会

・構造的な賃上げによる経済好循環の実現に向けて

- 九州経済四団体による構造的な賃上げに関する共同宣言
  （九経連・九商連・九同友・九経協が参加する「九州経済を考える懇談会」にて決定）　（2024.2月）
- 九州経済懇談会（経団連との懇談会）にて、経団連など経済三団体による「構造的な賃上げによる経済好循環の実現に向けた要請（2024.1月）」に呼応する形で、上記宣言を行ったことを報告し、オールジャパンで機運醸成
  （2024.3月）

2023 年度 主な事業の KPI

	活　動	KPI	2023 年度目標	2023 年度実績
高い付加価値を生み出す【産業】の創出	イノベーション・ＤＸ	半導体産業基盤の強化に向けた オール九州での戦略展開策の策定	戦略展開策の 策定	新生シリコンアイランド九州グランド デザイン素案策定
		航空機産業川下企業との新規関係構築	1 社	1 社
		九州版「スタートアップ５ヵ年計画」の策定	計画策定	オール九州での計画策定を見送り、 各団体がそれぞれ取り組む事とした
		九州・大学発ベンチャー振興会議、PARKS が 提供するギャップ資金提供	61,000 千円	63,000 千円
		九州 DX 推進コンソーシアム会員に 九州７県の企業・自治体が参画	九州７県の企業･ 自治体の参画	15 社・1 自治体 (九州５県の企業･自治体が参画)
		DX 支援事業者育成 及び DX 伴走支援企業	50 者・10 社	60 者・25 社
		ICT 人材インターンシップ事業の 現行実施地域の拡大	最低 1 地域	1 地域
	カーボン ニュートラル	「九州･沖縄･山口 ESG 投融資推進会議」に よる広域連携プロジェクト組成	1 件	共通認識の醸成は進んだが、 案件形成には至らなかった
		脱炭素先行地域の組成	1 件	6件
魅力・活力溢れる【地域】の創造	地域の 「稼ぐ力」 を高める	「九州の食輸出協議会」を受け皿にした 地元食品等産業の海外販路拡大支援	20 件	20 件
		県へのスマート農業モデル提案	県への提案	鹿児島県へ提案
		域外企業の九州農業への 参入マッチング事例の創出	マッチング事例 の創出	4件
		生産者の販路拡大に資する仕組みづくり	具体事例の創出	事例創出に至らず （新幹線物流を検討、小売側と運送 経費で調整つかず）
		次期九州観光戦略の策定・各県合意	策定・各県合意	策定・各県合意
	人の流れ をつくる	ツール･ド･九州をフックとした地元自治体と 各ステークホルダーとの協業マッチング	3エリア	3エリア
		地域農業の担い手・関係人口拡大事例の創出	事例創出	援農アプリの活用　2社 企業研修への農業研修導入　1社
	多様な人材が 能力を発揮 できる	ジェンダー平等推進のためのあるべき法整備 に関する提言とりまとめ	提言とりまとめ	有識者４名へヒアリング （2024 年 12 月とりまとめ予定）
		企業版ジェンダーギャップ指数の 観測協力企業数（従業員 101 人以上）	会員の 50%	３９%
		「女性活躍推進宣言」企業数	対前年 15%増	各県女性活躍推進団体の 施策間連携へ計画変更
	安心して 暮らし続け られる	新たなヘルスケアサービスの パイロットプロジェクトの企画・立案	企画・立案	住民向け/従業員向けの ２軸での関係者ヒアリング
		「Aill（男女の出会い専用マッチングアプリ）」 導入企業数	30 社	取組方針を変更 (個社支援による導入数拡大から、 各県との連携による面的展開へ)
みらいへの投資	データ駆動型 社会	「広域データ連携プラットフォーム構築 方針」策定・各県合意	策定・各県合意	構築方針策定し、ユース ケ―スの優先検討を合意
		パーソナルデータ利活用への「デジタル認証 の基本方針」の策定・各県合意	策定・各県合意	構築方針策定し、ユース ケ―スの優先検討を合意
		防災・減災システムのデータ連携の パイロットプロジェクトの企画・立案	企画・立案	広域連携　実証１件 半導体工場ヒアリング３社
	インフラ ネットワーク	九州 MaaS のグランドデザイン、並びに 協議会設立計画の承認	承認	承認

Ⅱ 総会・役員会等

総会、理事会、役員会等

開催日	会合名	内 容
総会		
2023/06/06	第 63 回定時総会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：2022 年度収支決算(案) 第 2 号議案：理事、監事選任(案) 報告事項①：2022 年度事業報告 報告事項②：2023 年度事業計画及び収支予算
理事会		
2023/05/12	第 173 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：理事、監事候補選任(案) 第 2 号議案：会長、副会長、専務理事、常務理事候補選任(案) 第 3 号議案：2022 年度事業報告(案) 第 4 号議案：2022 年度収支決算 (案) 第 5 号議案：第 63 回定時総会の招集 及び会議の目的事項(案) 報告事項 ：今後の主要スケジュール
2023/06/06	第 174 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：会長 選任(案) 第 2 号議案：副会長 選任(案) 第 3 号議案：専務理事、常務理事 選任(案) 第 4 号議案：代表理事、業務執行理事選任(案) 第 5 号議案：審議員、諮問委員、顧問選任(案)
2023/09/21	第 175 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：審議員、顧問 選任(案)
2024/03/18	第 176 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：審議員、諮問委員 選任(案) 第 2 号議案：第 2 期中期事業計画(案) 第 3 号議案：2024 年度事業計画(案) 第 4 号議案：2024 年度収支予算(案) 報告事項 ：今後の主要スケジュール
正副会長･委員長会議		
2024/01/24	正副会長･委員長会議 (福岡市)	＜懇談＞ 第 2 期中期事業計画案（2024～26）について 報告事項①：第 74 回九州経済懇談会 報告事項②：「マイナビ ツール･ド･九州 2023」開催報告
顧問会		
2023/12/11	顧問会 (東京)	＜懇談＞ 2023 年度主要事業の取り組み状況について
理事･審議員合同会議		
2023/09/21	理事･審議員合同会議 (福岡市)	＜議事＞ ･2023 年度上期事業進捗報告と今後の進め方 ･第 2 期中期事業計画（2024～26）の方向性 ･第 44 回九州地域戦略会議 ＜その他＞ ･2025 年日本国際博覧会(大阪･関西万博)について （関経連･松本会長による PR）

会員懇談会等

開催日	会合名	内 容
九州経済懇談会 (経団連との懇談会)		
2024/03/04	第 74 回九州経済懇談会 （福岡市）	＜基本テーマ＞ 「日本の経済安全保障の一翼を担う ～九州から日本を動かす～」 ＜懇談テーマ＞ ①九州の強みを生かした 経済･食料･エネルギー安全保障の推進 ②広域連携･官民共創による地方創生
沖縄連携フォーラム		
2023/12/14	沖縄連携フォーラム (那覇市) ※沖縄県経済団体会議との共催	＜九経連報告＞ 「共創でつくる九州 MaaS」 (一社)九州経済連合会 地域共創部 参事 木下 貴友 ＜パネルディスカッション＞ テーマ：半導体産業を取り巻く、九州･沖縄のダイナミズム モデレータ： (公財)九州経済調査協会 事業開発部 研究員 相川 弘樹 氏 パネリスト： 経済産業省九州経済産業局 地域経済部情報政策課長 田口 賀徳 氏 ㈱エイ･エス･エイ･ピイ 代表取締役 大澤 信 氏 沖縄工業高等専門学校 情報通信 システム工学科 教授 山田 親稔 氏
産学連携懇談会		
2023/04/19	産学連携懇談会 (福岡市)	＜先進事例報告＞ ･「長崎オープンイノベーション拠点および先進事例」 長崎大学 副学長 山本 郁夫 氏 ･「琉球大学の産学官連携活動について」 琉球大学 学長 西田 睦 氏 ･「大分大学の産学官連携による地域･社会･国際貢献の先進的な取組」 大分大学 学長 北野 正剛 氏 ･「山口大学の研究･産学連携活動への取り組み『明日の山口大学ビジョン 2030』の実現に向けて」 山口大学 学長 谷澤 幸生 氏 ･「高等専門学校における半導体人財育成の取組」 佐世保工業高等専門学校 校長 中島 寛 氏 ･「九経連のベンチャー支援･人材育成の取組」 （事務局） ＜全体討議＞ ･（前回報告４大学先進事例のフォローを含む）

新入会員交流会		
2024/01/27	新入会員交流会 (福岡市)	＜内容＞ ・新入会員による自己紹介と九経連正副会長 委員長・参加者との懇談・交流
九州女性の会		
2023/04/25	4 月例会 (福岡市)	＜役員改選＞ ・2023～2024 年度 会長・副会長 選任 ＜講演＞「会員企業に学ぶ」 演題：建物を通して人と街の未来を創る弊社の取り組み 講師：㈱内藤工務店 代表取締役社長 青池 美和 氏 演題：アピカルの保育園と今後の保育について 講師：㈱アピカル 取締役副社長 藤嶋 佳子 氏
2023/05/22	5 月例会（視察会） (福岡県大川市)	＜視察＞「会員企業を知る」 視察先：「ARBOR（アーバー）」 ※木の魅力を探求する私設公園併設施設
2023/06/06	6 月例会 (福岡市)	＜内容＞ 九経連第 63 回定時総会への参加
2023/07/20	7 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：天神の歴史とまちづくり、新福ビルの再開発について 講師：西日本鉄道㈱ 天神開発本部， 福ビル街区開発部 部長 花村 武志 氏
2023/08/03 ～04	8 月例会 (大分県別府市)	＜内容＞ 九州地域戦略会議 夏季セミナーへの参加
2023/09/20	9 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：これまでもこれからもイノベーションタウンであり続ける博多の魅力 講師：博多まちづくり推進協議会 事務局長 内野 豊臣 氏
2023/11/14	11 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：D＆Ｉ経営が必要な社会的背景と企業経営のあり方について 講師：福岡県 副知事 大曲 昭恵 氏
2023/12/11	12 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：アメリカにおけるダイバーシティの取組とは 講師：㈱ドーガン 取締役 小田 未来 氏
2024/01/18	1 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 九経連倉富会長による卓話
2024/02/19	2 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：新聞人 39 年目、メディア、キャリア、経済を語る 講師：㈱日本経済新聞社 常務執行役員 西部支社代表 今川 京子 氏
2024/03/04	3 月例会 (福岡市)	＜内容＞ 第 74 回九州経済懇談会 （経団連との懇談会）への参加

Ⅲ 委員会活動

資源エネルギー・環境委員会

開催日	会合名	内 容
2024/03/12	2023 年度委員会 （福岡市）	＜講演＞ 九州大学 大学院 工学研究院 機械工学部門 教授 伊藤 衡平 氏 「エネルギーの話 ～水素も含めて少し大局的に考えてみる～」 ＜先進事例発表＞ うきは市 副市長 重松 邦英 氏 「『フルーツ王国うきは』における果樹産業を 中心とした地域経済循環モデルの構築」 ＜議事＞ ①2023 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業報告 ②2024 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業計画（案）
2024/01/26	2023 年度企画部会 （福岡市）	＜基調講演＞ 経済産業省 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・資源循環経済課 課長 森 禎久 氏 「J クレジットに関する経済産業省の 取り組みについて」 ＜先進事例発表＞ ①SAGA COLLECTIVE 協同組合 事務局長 山口 真知 氏 「J クレジット支援によるカーボンニュートラルの実現」 ②㈱chaintope 代表取締役 CEO 正田 英樹 氏 「ブロックチェーン技術を活用した サーキュラーエコノミーの取り組み」 ＜議事＞ ①2023 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業報告 ②2024 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業計画骨子（案）
2023/09/13	第 2 回 九州・沖縄・山口 ESG 投融資推進会議 （福岡市）	＜内容＞ ①サステナブルファイナンス目標額について ②広域連携プロジェクトへの取り組みの検討 ③取り組み事例の紹介（福銀、肥後銀）
2024/02/28	第 3 回 九州・沖縄・山口 ESG 投融資推進会議 （福岡市）	＜内容＞ ①域内におけるESGファイナンスの 今後の方向性について ②広域連携プロジェクトのあり方等について ③産業構造の転換に対する現状の考え方について

産業振興・デジタル推進委員会

開催日	会合名	内 容
2024/03/11	産業振興・デジタル推進委員会 （福岡市）	＜議題＞ ・ 2023年度事業報告 ・ 2024年度事業計画（案） ＜講演＞ 「IOWN -通信から挑む持続可能な社会の実現-」 講師：NTT 研究企画部門 IOWN 推進室 室長 荒金 陽助 氏 「進化は次のステージへ -自律ロボット MOTOMAN NEXT シリーズ-」 講師：㈱安川電機 ロボット事業部 事業企画部 次長 難波 太郎 氏
2023/09/26	第 1 回産業振興部会 （宮崎市）	＜議題＞ ・ 2023年度 産業振興部会上期活動報告＆下期計画
2024/02/20	第 2 回産業振興部会 （佐賀県玄海町）	＜議題＞ ・ 2023年度 産業振興部会 事業報告 ・ 2024年度 産業振興部会 事業計画(案)
2023/07/10	産業振興部会 第 1 回先進工場見学会	・ ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
2023/09/26	産業振興部会 第 2 回先進工場見学会	・ 株式会社共立電機製作所
2024/02/20	産業振興部会 第 3 回先進工場見学会	・ 九州電力㈱玄海原子力発電所,玄海エネルギーパーク
2023/09/29	第1回デジタル推進部会 （福岡市） ※オンライン併用	＜議題＞ 第1部 ・2023年度 デジタル推進部会 上期活動報告＆下期計画 第2部 講演会 「効果的効率的に人を巻き込み、 持続可能な人材育成を行うには」 講師：CompTIA リージョナルダイレクター／ シニアコンサルタント 板見谷 剛史 氏 「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム活動の紹介」 講師：九州大学 副学長 数理・データサイエンス教育研究センター長 大学院システム情報科学研究院 情報知能工学部門教授 内田 誠一 氏
2024/02/27	第2回デジタル推進部会 （福岡市） ※オンライン併用	＜議題＞ 第1部 ・2023年度 デジタル推進部会 活動報告 ・2024年度 デジタル推進部会 事業計画案説明 第2部 ①「パーソナルデータ流通基盤を活用した、官民連携のサービス事例『引っ越しワンストップサービス』」 講師：㈱NTTデータ 公共統括本部 第三公共事業本部 デジタルソサエティ事業部 営業統括部長 遠藤 稔 氏／ 営業企画担当 課長代理 神農 明里 氏 ②「デジタル人材育成・確保に向けたIPAの取組 ～デジタルスキル標準を中心に～」 講師：IPA デジタル人材センター 人材プラットフォーム部 峯岸 誠 氏

ベンチャー支援		
2023/10/04 ～05	StartupGo!Go!2023 (福岡市)	<内容> ・国内外 30 のスタートアップが優勝をかけて行う「The Pitch」を開催 (起業家万博・甲子園への出場権、NEDO「TCP」への選抜権、総務省 NICT・経済産業省 NEDO の九州予選を兼ねる) (主催：(一社)Startup GoGo、共催：九経連)
2023/11/11	第23回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト (福岡市)	<内容> ・ コンテスト(1.2次審査を勝ち抜いた9組が出場) ・ 表彰式 グランプリ他の表彰 （九経連賞含む） (主催：(一社)九州ニュービジネス協議会等)
2023/11/14	九州・山口ベンチャーマーケット(KVM)2023 (福岡市)	<内容> ・九州・山口ベンチャーマーケット 各県代表2社(スタートアップ部門、二次創業部門)の合計18社が登壇 (主催：九州・山口ベンチャーマーケット実行委員会)
2024/02/14	第8回九州・大学発ベンチャー振興会議 (福岡市)	<議題> ・「九州・大学発ベンチャー振興会議」活動 報告 ・ 大学からの報告 ・ シーズ事業化の進捗状況 ・ PARKSとの連携 ・ 企業ニーズと大学シーズとのマッチング結果 (事務局：(一社)九州オープンイノベーションセンター、FVP、九経連)
サイバーセキュリティ推進への取組		
2023/09/08	第 1 回サイバーセキュリティセミナー （福岡市） ※オンライン併用	題目：「AI 活用時代の情報セキュリティ」 <講演> 講演①「生成 AI を活用に向け、企業の取り組むべきポイントとは？」 講師：(一社)日本ディープラーニング協会 専務理事 岡田 隆太朗 氏 講演② 「セキュリティインシデントへの備え（インシデント発生時の虎の巻）」 講師：㈱ラック サイバー救急センター長 関 宏介 氏
2024/02/09	第 2 回サイバーセキュリティセミナー （福岡市） ※オンライン併用	題目：「DX 時代のセキュリティ戦略構築」 <講演> 講演① 「DX 時代において備えるべきセキュリティ対策の基本」 講師：(一社)日本ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ推進協会 セキュリティ部会長 白水 公康 氏 講演② 「情報漏えいと内部不正対策 ～新しい社会・事業環境への対応～」 講師：IPA(独立行政法人情報処理推進機構) セキュリティプレゼンター 栗原 靖史 氏
2024/03/18 ～19	第 4 回九州サイバーセキュリティシンポジウム （鹿児島市）	<内容> DX 時代の攻めのサイバーセキュリティ (イノベーションへの追髄とサイバーセキュリティの両立) 講師：日本マイクロソフト㈱ 技術統括室 チーフセキュリティオフィサー 河野 省二 氏 他
ICT 人材育成への取り組み		
2023/08/01	先導的 ICT 人材育成事業 キックオフ会議 （福岡市） ※オンライン併用	<内容> ・ 実践インターンシップの概要説明 ・ 今年度参加学生の紹介 ・ 今年度参加学生によるスピーチ（抱負等） ・ 実践インターンシップの進め方の説明
2023/12/14	先導的 ICT 人材育成事業 第 27 回成果報告会 （福岡市） ※オンライン併用	<内容> ・ 今年度参加学生による実践インターンシップの参加報告 ・ 修了証書授与 ・ 受入れ企業関係者による講評
2024/02/27	中小企業 DX 支援取組事例勉強会 (オンライン)	<内容> ① 支援機関、金融機関の取組、支援事例 福岡商工会議所「ＹＯＫＡ-ＤＩＧＩ」 ② 関係団体の取組 九州経済連合会 「DX 伴走支援ﾃﾝﾌﾟﾚｰﾄ」 ③ 自治体の取組 佐賀県産業労働部産業DX・スタートアップ推進グループ 「デジタルは佐賀のビジネスの常識です。」

地域共創委員会

■委員会・部会等

開催日	会合名	内 容
2023/10/03	第 1 回委員会 （福岡市）	<議題> ・地域共創委員会の活動状況（報告） <講演> 演題：「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」 講師：九州旅客鉄道㈱ 相談役 唐池 恒二 氏 （九経連副会長兼地域共創委員会副委員長）
2024/03/01	第 2 回委員会 （福岡市）	<議題> ・2023 年度 地域共創委員会 事業報告(案) ・2024 年度 地域共創委員会 事業計画(案) <講演> 演題：「どうしても親切が第一 ～パーパスとエンゲージメントについて～」 講師：TOTO㈱ 会長 喜多村 円 氏 （九経連副会長兼地域共創委員会副委員長）
地域づくり部会		
2023/09/05	第 1 回地域づくり部会 (福岡市) ※オンライン併用	<内容> ・報告：地域共創委員会及び地域づくり部会を設置した経緯、及び地域共創委員会の取組状況と課題 ・意見交換 ①委員会事業の進め方と、更なる成果創出に向けて ・ジェンダー不平等を乗り越えるための官民一体の取組 ・農業の担い手不足の解消と農的関係人口の拡大 ②九州から始める地方創生の新たな取組・アイデア
2024/02/13	第 2 回地域づくり部会 (福岡市) ※オンライン併用	<内容> ・報告：2023 年度事業報告及び次年度計画(案) ・意見交換：人材流動化・人材共有モデルの検討 ～都市人材と地域とのマッチングの仕組み構築～
規制改革推進部会		
2023/09/04	第 1 回規制改革推進部会 (福岡市) ※オンライン併用	<報告> ・地域共創委員会及び規制改革推進部会設置の経緯 ・九州スマートリージョン構想 フォローアップ <議題> ・規制改革推進部会 取組方針について ・専門部会の活動について ・規制改革目安箱（仮称）について <意見交換> ・九州・山口全体の活性化に資するアイデアの創出
2024/02/21	第 2 回規制改革推進部会 (福岡市) ※オンライン併用	<報告> ・第 1 回規制改革推進部会の振り返り ・第 1 回規制改革推進部会を踏まえた今後の方針 <意見交換> ・企業の農業参入 ・教育への関わり方

農業・林業・水産業専門部会		
2023/11/30 ～12/01	農業専門部会 農業関係現場視察会 （鹿児島県）	＜視察先＞ ・カミチクファーム金峰農場（鹿児島県南さつま市） 和牛肥育・育成農場見学 ・カミチクファーム TMR センター（同上） 飼料製造工場見学 ・お肉の直売所吹上ひまわり館（鹿児島県日置市） 物産館見学 ・カミチク加工センター（鹿児島市） 食肉加工センター見学、会社説明 ・カミチクファーム伊佐農場（鹿児島県伊佐市） 酪農場・大型堆肥施設見学 ＜参加者＞ 8名
2024/02/27	農業専門部会 （福岡市） ※オンライン併用	＜議題＞ ・2023 年度活動実績 ・2024 年度活動計画(案) ・2024 年度農業・畜産関係要望事項(案) ＜意見交換＞ ・その他 各委員からの情報提供・意見交換
2023/12/06	林業専門部会 林業関係現場視察会 （鹿児島県）	＜視察先＞ ・MEC Industry 鹿児島湧水工場（鹿児島県姶良郡） 事業概要の説明、製造棟及び製材棟の見学 ＜参加者＞ 19 名
2024/03/05	林業専門部会 （福岡市） ※オンライン併用	＜議題＞ ・2023 年度活動実績 ・2024 年度活動計画(案) ・2024 年度林業関係要望事項(案) ＜意見交換＞ ・その他 各委員からの情報提供・意見交換
2024/02/26	水産業専門部会 (福岡市)	＜議題＞ ・2023 年度活動実績 ・2024 年度活動計画(案) ・2024 年度水産業関係要望事項(案) ＜意見交換＞ ・その他 各委員からの情報提供・意見交換

■地域の「稼ぐ力」を高める

開催日	会合名	内 容
地元食品産業等の販路拡大（九州の食輸出協議会）		
2023/11/02 ～12	九州フェア （カンボジア）	＜内容＞ ・イオン ASEAN 地域での九州フェアの開催 2 カ国合計でのべ 65 商品、336 ケース成約
2023/11/17 ～30	九州フェア （マレーシア）	
2023/11/24 ～12/07	九州フェア （台湾）	＜内容＞ ・台湾小売店「大潤發」(20 店舗)で九州フェア開催 くまモン同行にて販売促進を実施(4 店舗)
2024/01/12 ～28	九州フェア （香港）	＜内容＞ ・デイリーファーム約 30 店舗での九州フェア開催 九州 3 県のマスコットキャラクターも集まり、販売を促進
2024/02/22 ～03/20	九州フェア （カリフォルニア）	＜内容＞ PPIH（ドン・キホーテ）米国での九州フェア開催 のべ 16 商品、185 ケース成約
2024/03/27 ～04/16	九州フェア （ハワイ）	
中山間地域スマート導入モデル		
2023/05/31	現地実演会 （鹿児島県 さつま町）	鹿児島県さつま町中山間地域（農事組合法人ひとつき）での実演会／ロボットトラクターを実施
2023/07/20	現地実演会 （鹿児島県 さつま町）	鹿児島県さつま町中山間地域（農事組合法人夢希耕あながわ）での実演会／ラジコン草刈機を実施
2023/11/09 ～10	現地説明会 （鹿児島県 さつま町）	さつま町をモデルとした中山間地域スマート農業モデル営農指標説明会を開催 （説明者：農業・食品産業技術総合研究機構 企画戦略本部 宮武 恭一 氏）

企業の農業参入促進		
2023/10/02	九経連・経団連共催 農業活性化に向けた企業タイアップセミナー (東京都・経団連会館)	＜概要＞ ・農業従事者の減少や耕作放棄地の拡大といった農業が直面する課題について、企業の農業参入をはじめとする経済界と農業界のタイアップを促進することにより諸課題の解決を図り、農業の活性化に繋げる。 セミナー後は九州各県産品の展示も含めた、九州各県・登壇者と企業参加者との交流会を開催。 ＜基調講演＞ 演題：「農業参入の新戦略～企業が知るべき農業課題と役割～」 講師：FOODBOX㈱ 社長 中村 圭佑 氏 ＜各県プレゼンテーション＞ 企業の農業参入状況、支援体制等について （佐賀県、大分県、熊本県、宮崎県） ＜事例講演＞ 演題：「異業種からの農業参入～何もない故郷こそ可能性の宝庫～」 講師：㈱オキス 社長 岡本 孝志 氏 ＜交流会＞ 参加希望者と登壇者の交流会（各県産品も展示） ＜参加者＞ 134 名
九州産木材の利用促進		
2023/05/26	第 1 回モクビル研究会 （福岡市） ※オンライン併用	＜内容＞ ・木造建築先行事例研究 事例発表 演題：「これからの小中大規模の木造建築」 講師：㈱ウッディファーム 代表取締役 坂田 雅孝 氏 ・林業部会ＳＣＭの最適化について ①木造ビル普及への過去の取り組みと 2023 年度活動予定説明 ②木材サプライチェーン製材所調査説明 ③モクビル希望者への紹介補完体制提案、事例紹介
2023/10/27	第 2 回モクビル研究会 （福岡市） ※オンライン併用	＜内容＞ ・講演会 演題：「九州の林業の現状」 講師：宮崎大学 農学部教授 藤掛 一郎 氏 ・林業部会ＳＣＭの最適化について ①木材サプライチェーン製材所調査結果報告 ②「九経連 モクビル研究会」活動内容について ③木材サプライチェーンネットワークづくりについて ④活動報告
2023/11/27	第 3 回モクビル研究会 （福岡市） ※オンライン併用	＜内容＞ ・講演会 演題：「木でつくる懐かしい未来 ―中規模ビルの普及に向けて」 講師：ビルディングランドスケープ共同主宰、 芝浦工業大学教授 山代 悟 氏 ・林業部会ＳＣＭの最適化検討会 林業専門部会ＳＣＭの最適化について ①木材サプライチェーン製材所調査について （各県からのご意見） ②木材サプライチェーンネットワークづくりについて ③活動報告 ④アンケート
2024/03/25	第 4 回モクビル研究会 （福岡市） ※オンライン併用	＜内容＞ ・講演会 演題：「製材 JAS の供給・利用の拡大に向けて」 講師：林野庁 林政部 木材産業課 課長補佐 高木 望 氏 ・木材非住宅建築の普及拡大の取り組みについて ①木材サプライチェーン製材所調査 2023 年度報告 ②木材サプライチェーン製材所調査、ネットワークづくりについて ③九経連会員および一般への木造非住宅物件検討依頼について ④活動報告 ⑤アンケート

第三期九州観光戦略		
2023/06/29	第４回準備 WG （福岡市）	＜議題＞ ・準備 WG 会議の議長選出 ・第二期九州観光戦略の評価と課題 ・第三期九州観光戦略第１次アクションプランの事務局案 ・数値目標（九州へのリピーター率調査）
2023/07/21	第３回委員会 （福岡市）	＜議題＞ ・第二期九州観光戦略の評価と課題 ・第三期九州観光戦略第１次アクションプランの事務局案
2023/09/06	第５回準備 WG （福岡市）	＜議題＞ ・第１次アクションプランの事務局案 ・第１次アクションプランの数値目標（九州へのリピーター率、各戦略の KPI）
2023/09/26	第４回委員会 （福岡市）	＜議題＞ ・第１次アクションプランの数値目標（案）
2024/02	第６回準備 WG （書面開催）	＜議題＞ ・訪日外国人のリピーター率（アジア・欧米豪）
2024/03	第５回委員会 （書面開催）	＜議題＞ ・訪日外国人のリピーター率（アジア・欧米豪）

■人の流れをつくる

開催日	会合名	内 容
ツール・ド・九州 2023		
2023/10/06 ～09	ツール・ド・九州	＜開催概要＞ 開催地：福岡県、熊本県、大分県（18 市町村） レース形式：転戦型ステージレース、クリテリウム 全走行距離 426km、獲得標高 8,211m 参加 18 チーム、選手 104 人（17 ヵ国） カテゴリー：UCI アジアツアー2.1（クラス１） 観客数：88,300 人 YouTube 再生回数：267,000 回 経済波及効果：26 億 1,619 万円
2024/03/18	ツール・ド・九州 2024 記者発表 （福岡市）	・ツール・ド・九州 2024 PR 動画放映 ・2024 大会 ロゴマーク発表 ・スポンサー発表
ツール・ド・九州をフックとした地域活性化事業		
2024/01/15 2024/01/26 2024/01/30	locus 成果報告 （大分市） locus 成果報告 （福岡市） locus 成果報告 （熊本市）	＜概要＞ ・ツール・ド・九州をきっかけに、福岡県・熊本県・大分県の高校生たちが、自転車チームの様に地元企業と連携し、それぞれの地域が抱える課題について共に解決策を模索する。 （参加高校生 623 名、協力企業数 37 社） ・探究学習の成果を、大分県・佐藤知事、福岡県・服部知事、熊本県・門﨑政策審議官へ、高校生から報告。
地域農業の担い手・関係人口拡大事例の創出（２社、19 名）		
2023/06/19	福岡県大木町	１名、イチゴハウス清掃、株撤去、栽培準備
2023/06/26	福岡県大木町	２名、イチゴハウス清掃、株撤去、栽培準備
2023/06/27	福岡県大木町	１名、イチゴハウス清掃、株撤去、栽培準備
2023/09/15	福岡県大木町	１名、イチゴの定植作業、定植準備
2023/09/18	福岡県大木町	３名、イチゴの定植作業、定植準備
2023/12/02	福岡県久留米市	４名、イチゴの手入れ、農地整備
2023/12/02	福岡県久留米市	３名、ラディッシュの収穫
2023/12/16	福岡県久留米市	３名、ほうれん草の収穫・調整・袋詰め作業
2023/12/16	福岡県糸島市	１名、マイクロハーブの収穫

■多様な人材が能力を発揮できる

開催日	会合名	内 容
ジェンダー平等推進		
2023/08/03 ～04	九州地域戦略会議 夏季セミナー 第４分科会 （大分県別府市）	＜テーマ＞ 「人口急減に立ち向かう地方元気戦略 ～若者・女性から選ばれる九州へ～」 ＜座長＞ 北九州市立大学大学院 マネジメント研究科 教授 平田 エマ 氏 ＜課題提起者＞ ㈱マイナビ 取締役常務執行役員 渋沢 喜一郎 氏 ㈱マイナビ locus 推進部部長 天本 貴之 氏 大分大学 経済学部 講師 碇 邦生 氏 ＜論点＞ ・若者の流出を防ぐ！如何にして、地域と若者との繋がり強化を図るのか ・女性のエンパワーメントを核に、地域・組織の活力と成長の促進をめざす
2024/01/19	長崎県及び沖縄県内女性管理職による意見交換会 （オンライン）	＜概要＞ 九州一体での女性活躍ネットワーク作りの一環として、女性活躍推進団体の施策間連携・地域間連携により、困り事や課題を共有し、課題解決に導くとともにさらなる風土の醸成により、ジェンダー平等の社会を実現に繋げる場として開催。 ・長崎県：ながさき女性活躍推進会議 ・沖縄県：沖縄県経営者協会女性リーダー部会 ＜事例発表＞ ・長崎県商工会連合会 ・㈱おきなわフィナンシャルグループ ・社会福祉法人長崎厚生福祉団 ・㈱仲本工業

（その他）

開催日	会合名	内 容
社会課題解決		
2023/11/22	「SDGs への貢献につなげる 九州マッチング会」 (福岡市)	＜テーマ＞ ・休眠預金活用事業の概要の紹介 (一財)日本民間公益活動連携機構(JANPIA) 鈴木 均 氏 ・休眠預金活用団体（21 団体）によるショートプレゼンテーション ・企業（30 社）と休眠預金活用団体（21 団体）との対話会

■安心して暮らし続けられる

開催日	会合名	内 容
災害対応の広域化・迅速化・高度化		
2023/08/22	九州防災 DX タスクフォース 設立記者発表 (福岡市)	＜発表内容＞ ・九州防災 DX タスクフォース設立について ・災害情報活用の高度化、及びその共同利用による広域連携の実証・実装 ・産業（特に半導体）を支える災害対策の実証・実装 ・パートナー募集 ＜コアメンバー＞ 九経連、東京海上日動火災保険㈱ SAP ジャパン㈱、㈱INSPIRATION PLUS、 I－レジリエンス㈱
2023/08/05	第１回 全県合同勉強会 (大分県別府市)	九州地域戦略会議「安心・安全 PT」の防災・減災プロジェクトとして、九州各県と九経連、研究機関等で計４回の合同勉強会を実施。
2023/10/26 2024/01/29 2024/03/13	第２回勉強会 (オンライン) 第３回勉強会 (熊本市) 第４回勉強会 (宮崎市)	＜議題＞ ・デジタル技術を活用した防災・減災対策（国・研究機関・民間の動き） ・各県の災害情報管理システムの状況 ・大分・宮崎概念実証（PoC）結果 ・データセット（九州版 EEI）

交通委員会

開催日	会合名	内 容
2024/03/06	委員会 (福岡市)	<議題> ・ 2023年度活動報告 ・ 2024年度事業計画（案） ・ 九州MaaSプロジェクトの進捗状況 <勉強会> 演題：「交通関連業界にとってのスマートシティ」 講師：KPMG コンサルティング㈱ 執行役員 パートナー 馬場 功一 氏
2023/07/07	第１回企画部会 (福岡市)	<議題> ・ 交通基盤整備に関する要望(案) ・ 2023年度第1四半期活動報告 <講演> 演題：「デジタル庁におけるモビリティ分野の取組について」 講師：デジタル庁国民向けサービスグループ 参事官 麻山 健太郎 氏
2024/02/06	第２回企画部会 (福岡市)	<議題> ・ 2023年度活動報告 ・ 2024年度事業計画（案） <報告> 演題：「九州 MaaS プロジェクトの進捗状況」 報告：九州 MaaS 実行組織準備会事務局 （一社）九州経済連合会 地域共創部 参事 木下 貴友
2023/08/16	九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望	<要望先> 内閣府、財務省、経済産業省、国土交通省、国会議員等

関門連携委員会

開催日	会合名	内 容
2023/10/05	第１回委員会 （書面開催）	<議題> 関門地域の活性化推進に関する要望(案)
2024/03/15	第２回委員会 （北九州市）	<議題> ・2023 年度実施状況報告 ・2024 年度事業計画(案) <講演> 演題：「世界から選ばれる関門海峡ブランドを目指して」 講師：㈱ＪＴＢ総合研究所 主席研究員 山下 真輝 氏
2023/10/22	下関北九州道路整備促進大会 （北九州市）	<主催団体> ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 中国経連、九経連、関門連携委員会 ・ 下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・ 下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 <大会決議> 1．早期事業化に向け、国と２県２市が協力のもと、環境影響評価や都市計画課決定の手続きを進めること 2．PFI 等の活用など官民連携による効果的な整備手法の検討を促進すること 3．地域の観光資源としてのポテンシャルを高め、地域活性化に繋がる道路となるよう検討すること
2023/08/16	下関北九州道路の早期実現に関する要望 （郵送）	<要望団体> ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 関門連携委員会 <要望先>国土交通省、財務省、自民党、公明党等
2023/11/06	下関北九州道路中央要望 （東京都）	<要望団体> ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 中国経連、九経連、関門連携委員会 ・ 下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・ 下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 <要望先>国土交通省、財務省、自民党、公明党
2023/11/29	関門地域の活性化推進に関する要望 （東京都）	<要望団体> 関門連携委員会 <要望先> 国土交通省、内閣府、財務省等

地域委員会

開催日	会合名	内 容
北九州		
2023/11/27	北九州・山口合同地域委員会 (山口県下関市)	<講演> 「押し寄せる CN(脱炭素)時代への備え」 ワイエムコンサルティング㈱ コンサルティング事業部 課長 原田 慶治 氏 <意見交換会> 山口・北九州地区の地域課題及び取組状況報告 会長との意見交換
筑後		
2023/08/08	第 1 回筑後地域委員会 (福岡県久留米市)	<本部報告> 2023 年度事業計画 <意見交換> 筑後地域の現状や課題等について
2023/09/15	第 2 回筑後地域委員会 (福岡県久留米市)	<本部報告> 九経連事業報告 <意見交換> 会長との意見交換
佐賀		
2023/07/31	第 1 回佐賀地域委員会 （佐賀市、 玄海町）	<視察会> 佐賀県産業スマート化センター（佐賀市） 九州電力㈱玄海原子力発電所（東松浦郡玄海町）
2023/11/29	第２回佐賀地域委員会 （佐賀市）	<講演> 「地方のアナログ企業が挑むＤＸ化への決断」 ㈱アネシス 経営戦略本部 ＤＸ推進グループ 部長 木下 裕之 氏 <本部報告> 九経連事業報告 <意見交換> 会長との意見交換
長崎		
2023/09/27	長崎地域委員会 （長崎市）	<本部報告> 九経連事業報告 <報告> 「長崎サミット」の概要について 長崎都市経営戦略推進会議 議長 小川 洋 氏 「九州 MaaS プロジェクト」について (一社)九州経済連合会 地域共創部 参事 木下 貴友 <意見交換> 会長との意見交換
熊本		
2023/09/11	熊本地域委員会 （熊本市）	<本部報告> 九経連事業報告、マイナビ ツール・ド・九州の紹介 <講演> 「社員の発想を生かした事業展開による企業価値向上」 ㈱関家具 会長 関 文彦 氏 <意見交換> 会長との意見交換

2024/02/20	熊本・鹿児島合同地域委員会 (熊本市)	<本部報告> 「新生シリコンアイランド九州」グランドデザイン策定に向けた産官学金協議の進捗状況 <講演> 「九州と台湾の発展に向けて」 玉山銀行 福岡支店長 久保 敏也 氏 <会員報告> 「熊本空港における台湾との交流促進に向けた取組み」 熊本国際空港㈱ 社長 山川 秀明 氏 <意見交換> 会長との意見交換
大分		
2023/10/13	大分地域委員会 (大分市)	<本部報告> 「九州防災 DX タスクフォース」設立とその取組内容について <講演> 「九州防災 DX タスクフォースの取組みについて」 ㈱INSPIRATION PLUS 代表取締役 山本 竜伸 氏 <意見交換> 会長との意見交換
宮崎		
2023/08/25	宮崎地域委員会 (宮崎市)	<本部報告> 九経連事業報告 <講演> 「九州 MaaS プロジェクト」について (一社)九州経済連合会 地域共創部 参事 木下 貴友 <意見交換> 会長との意見交換
鹿児島		
2023/09/20	鹿児島地域委員会 (鹿児島市)	<本部報告> 「マイナビ ツール・ド・九州 2023」誘致による観光戦略 <講演> 「これからの『稼ぐ観光』」 雅叙苑観光㈲ 社長 田島 健夫 氏 (「天空の森」「忘れの里雅叙苑」「田島本館」主人) <会員報告> 「離島クルーズによる鹿児島観光戦略の可能性」 南薩観光㈱ 社長 菊永 正三 氏 <意見交換> 会長との意見交換
2024/02/20	鹿児島・熊本合同地域委員会 (熊本市)	<本部報告> 「新生シリコンアイランド九州」グランドデザイン策定に向けた産官学金協議の進捗状況 <講演> 「九州と台湾の発展に向けて」 玉山銀行 福岡支店長 久保 敏也 氏 <会員報告> 「熊本空港における台湾との交流促進に向けた取組み」 熊本国際空港㈱ 社長 山川 秀明 氏 <意見交換> 会長との意見交換
山口		
2023/11/27	山口・北九州合同地域委員会 (山口県下関市)	<講演> 「押し寄せる CN(脱炭素)時代への備え」 ワイエムコンサルティング㈱ コンサルティング事業部 課長 原田 慶治 氏 <意見交換会> 山口・北九州地区の地域課題及び取組状況報告 会長との意見交換

Ⅳ 国内外の団体等との活動・経済交流等

九州地域戦略会議

開催日	会合名	内 容
2023/05/31	第 43 回九州地域戦略会議 (沖縄県名護市)	<審議> ・ 九州Ｍａａ Ｓについて ・ 第二期九州創生アクションプランの見直しについて ・ 第三期九州観光戦略の策定について ・ 宣言について <報告> ・ ツール・ド・九州について ・ ディスカバー九州について ・ 九州・長崎IRについて ・ 第20回夏季セミナーについて ・ 九州プロモーションセンター in ハノイについて ・ シリコンアイランド九州の復活に向けて ・ ResorTech EXPO 2023 in Okinawaについて
2023/10/25 ～26	第 44 回九州地域戦略会議 (佐賀市)	<審議> ・ 九州Ｍａａ Ｓプロジェクトについて ・ デジタル関連新規施策について ・ 九州創生アクションプラン 次期プランの策定について ・ 第 20 回夏季セミナー・分科会の議論について ・ 新生シリコンアイランド九州の実現に向けた取組について ・ 九州・山口における食料安全保障の確立について ・ 安心・安全な暮らしを基盤とした九州創生（脱炭素社会の実現に向けた取組）について ・ 宣言について ・ 予算・決算、役員選任について <報告> ・ ツール・ド・九州について ・ 九州・長崎 IR の進捗状況等について ・ 第三期九州観光戦略第 1 次アクションプランについて ・ 在福岡米国領事館からのビデオメッセージ ・ 再生可能エネルギー産業化推進委員会の活動報告と 2024 年度事業計画について ・ 九州・沖縄文化力推進会議令和５年度事業計画について
2023/08/03 ～04	第 20 回夏季セミナー （大分県別府市）	<テーマ> 誰もが輝く KYUSHU 未来 ～九州ならではの価値を創り、磨き上げる～ <基調講演> 演題：アメリカから見た九州の魅力・強み、可能性と課題 講師：米国大使館 経済部 通商経済政策課 一等書記官 パメラ・ポンティアス 氏 <第 1 分科会> テーマ：アトツギベンチャー 座長：(一社)ベンチャー型事業承継 代表理事 山野 千枝 氏 <第 2 分科会> テーマ：デジタル技術を活用した防災・減災対策について 座長：大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター センター長/教授 鶴成 悦久 氏 <第 3 分科会> テーマ：アドベンチャーツーリズムを活用した地域振興 座長：ADVENTUR TRAVEL TRADE ASSOCIATION アジア地区ビジネスマネージャー 國谷 裕紀 氏 <第 4 分科会> テーマ：人口急減に立ち向かう地方元気戦略 ～若者・女性から選ばれる九州へ～ 座長：北九州市立大学大学院マネジメント研究科 教授 平田 エマ 氏
2023/04/14	幹事会 (山口市)	<議題> ・ 第43回九州地域戦略会議の開催要領（案）について ・ 第43回九州地域戦略会議 議題について
2023/08/31	幹事会 (長崎市)	<議題> ・ 第44回九州地域戦略会議の開催要領(案)について ・ 第44回九州地域戦略会議 議題について
2024/02/01	幹事会 (福岡市)	<議題> ・ 次期九州創生アクションプラン（案）について ・ 第21回夏季セミナーについて ・ 第45回戦略会議に係る議題等について
再生可能エネルギーへの取組		
2023/10/02	再生可能エネルギー産業化推進委員会 第１回委員会 (福岡市)	<議題> ・ 実務者会議からの報告 ・ 事務局報告 <講演> ・ 九電みらいエナジー㈱
2024/03/14	再生可能エネルギー産業化推進委員会 第２回委員会 (福岡市)	<議題> ・ 実務者会議からの報告 ・ 事務局報告 <講演> ・ 九州経済産業局

2023/08/30 ～31	第 1 回地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議 (鹿児島県指宿市)	＜議題＞ ・ APに関する各県からの状況報告 ・ 地熱・温泉熱PJ組成件数 ・ 再エネ委員会からの報告 ・ 令和5年度事業計画等 ＜視察＞ ・ メディポリス指宿発電所(指宿市) ・ 九州電力㈱山川発電所(指宿市)
2024/02/28 ～29	第 2 回地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議 (大分市、 大分県九重町)	＜議題＞ ・ APに関する各県からの状況報告 ・ 地熱・温泉熱PJ組成件数 ・ 再エネ委員会からの報告 ・ 令和6年度事業計画等 ＜講演＞ ・ 大分ベンチャーキャピタル㈱ ＜視察＞ ・ 愛彩ファーム九重(九重町) ・ 大林組グリーン水素製造実証プラント(九重町)
2023/08/31	第 1 回海洋エネルギー産業化実務者会議 (鹿児島市)	＜議題＞ ・ 各委員の取り組み状況・翌年度計画報告 ・ 合同活動・展示会出展・セミナー開催報告 ・ 再エネ委員会からの報告 ・ 今後の実務者会議活動 ・ KPI指標
2024/02/21	第 2 回海洋エネルギー産業化実務者会議 (鹿児島市)	＜議題＞ ・ 各委員の取り組み状況・翌年度計画報告 ・ 合同活動・展示会出展・セミナー開催報告 ・ 再エネ委員会からの報告 ・ 今後の実務者会議活動 ・ KPI指標 ＜講演＞ ・ 資源エネルギー庁 ・ 九電みらいエナジー㈱
2023/07/14	第 1 回水素エネルギー産業化実務者会議 (オンライン)	＜議題＞ ・ APに対する取り組み報告 ・ 再エネ委員会からの報告 ＜講演＞ ・ ㈱ローソン
2024/01/18 ～19	第 2 回水素エネルギー産業化実務者会議 (鹿児島市、 鹿児島県霧島市)	＜議題＞ ・ APに対する取り組み報告 ・ 再エネ委員会からの報告 ＜講演＞ ・ 佐賀県 ・ 九州大学 ＜視察＞ ・ 鹿児島市南部清掃工場(鹿児島市) ・ 日本ガス LNG 基地(鹿児島市) ・ 京セラきりしま R&D センター(霧島市)

経済団体等との懇談

開催日	会合名	内 容
北海道経済連合会との意見交換会		
2024/02/05	(一社)九州経済連合会と北海道経済連合会との意見交換会 (札幌市)	＜議題＞ ①半導体 ・道経連：半導体関連産業集積に向けた取り組み ・九経連：「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた取り組み ②MaaS ・道経連：MaaS の取り組み ・九経連：九州 MaaS の取り組み ③農林水産業 ・九経連：「食の安全保障」～フードアイランド九州の更なる推進に向けた取組強化
九州経済を考える懇談会		
2023/07/05	第 1 回懇談会 (福岡市)	＜議題＞ ・シリコンアイランド九州の復活に向けて ・九州と韓国との経済交流活性化について
2024/02/07	第 2 回懇談会 (福岡市)	＜議題＞ ・九州の食料安全保障の確立に向けて ・新生シリコンアイランド九州の実現に向けて ・構造的な賃上げによる経済好循環の実現に向けて
九州経済団体 総務担当者会議		
2023/04/04 2023/05/10 2023/06/05 2023/07/05 2023/08/07 2023/09/08 2023/10/02 2023/11/01 2023/12/04 2024/01/10 2024/02/07 2024/03/08	4 月例会 5 月例会 6 月例会 7 月例会 8 月例会 9 月例会 10 月例会 11 月例会 12 月例会 1 月例会 2 月例会 3 月例会 (福岡市)	＜議題＞ 各団体の活動状況

海外との経済交流

開催日	会合名	内 容
環黄海交流事業		
2023/10/31	第 21 回環黄海経済・技術交流会議 (中国・大連市)	＜内容＞ ・「RCEP 背景下の中日韓経済貿易協力に関する新契機フォーラム及び三カ国企業ビジネスマッチング」をテーマに企業概要、協力提案などを発表。 ＜中日韓三カ国代表者プレゼンテーション＞ (日本からのテーマ・登壇者) ・「すすむ！を継続し信号灯器 TOP メーカーへ」 信号電材㈱ 相談役 糸永 一平 氏 ・「繋ぐを創る世界を繋ぐ～メーカー商社としての大連での歩み」 リックス㈱ 代表取締役社長 安井 卓 氏 ・大連市対日・対韓経済貿易協力プロジェクト契約調印式 中国国際貿易促進委員会大連市分会と九経連との「貿易と投資の促進に関する覚書」締結 ・「産業チェーン・サプライチェーンの円滑化を維持し、環黄海地域協力・発展の成果を共有する」をテーマとし、三カ国の地域の協力および経済技術交流事例を紹介。 ＜中日韓三カ国代表者プレゼンテーション＞ (日本からのテーマ・登壇者) ・「東陶（大連）有限公司 会社紹介」 東陶（大連）有限公司 総経理 臼井 宏之 氏 ・「大連市における取組と今後について」 清本鉄工㈱ 代表取締役社長 清本 邦夫 氏 ・「大連(中国)で日本のマットレス職人作りを目指して 12 年」 ㈱ルービック JP 代表取締役 日野 淳一 氏 ・「福岡と大連の交流について」 福岡・大連未来委員会 委員長 土屋 直知 氏
中国との経済交流事業		
2023/08/30	広東香港澳門大湾区企業家連盟（GBA 連盟）と九経連との MOU 調印式 (福岡市)	＜内容＞ ・香港中華総商会、広東香港澳門大湾区企業家連盟（GBA 連盟）、香港ベトナム商工会議所の合同訪問団の福岡訪問を機に同連盟と九経連との間で経済交流促進に関する MOU を調印。 ＜出席者＞ 香港中華総商会 会長 広東香港澳門大湾区企業家連盟 主席 香港ベトナム商工会議所 会頭 新華集団 会長 ジョナサン・チョイ（蔡冠深）氏 （一社）九州経済連合会 会長 倉富 純男 首席香港駐東京経済貿易代表 ウィンサム・アウ 氏 総勢 80 名（日本側 57 名、香港側 23 名）
2023/10/31	中国国際貿易促進委員会大連市分会と九経連との MOU 署名 (中国・大連市)	＜内容＞ ・環黄海経済・技術交流会議の中国・大連市での開催を機に、九州と大連市との間の経済交流を深めるべく、上記会議の中で中国国際貿易促進委員会大連市分会と九経連との間で貿易と投資の促進に関する MOU に署名。 ＜署名者＞ 中国国際貿易促進委員会大連市分会 会長 孫 連運 氏 （一社）九州経済連合会 会長 倉富 純男
台湾との経済交流事業		
2024/03/12	台湾・日本(九州)経済交流フォーラム 2024 (福岡市､台北市)	＜内容＞ TSMC の熊本進出や、台湾の金融機関等の九州への進出の動き等、九州と台湾の経済交流の進展を受け、九州と台湾の更なる経済交流を促進するため、双方の投資支援策や投資動向について、事例を交えながら紹介。 ＜講演＞ 「台湾の経済発展の現状」 台湾経済部 国際貿易署 署長 江 文若 氏 「九州のビジネス・投資環境の魅力」 九州経済産業局 国際部長 藤原 晋一 氏 「九州の半導体関連産業及び産業振興の取り組み」 (一社)九州半導体・デジタルイノベーション協議会 事務局長 藤井 博信 氏 ＜事例紹介＞ 日本貿易振興機構、北九州市、福岡市、熊本県 台湾経済部、台北市、桃園市 台北市日本工商会、日立ハイテク台湾 日本マーテック㈱、アドバンテック㈱
韓国との経済交流事業		
2023/09/13	九州・韓国経済協力会議 2023 (福岡市)	＜内容＞ ・九州と韓国双方の資金、技術、人材等の地域資源を相互補完し、貿易、投資及び産業技術の交流拡大と地域間交流を促進することを目的に開催。今回は、「地域間交流の促進」をテーマに、産業、人材、万博、観光の４つの分野について意見交換を行った。 (出席者) 【九州側】 19 名 （一社）九州経済連合会 会長 倉富 純男 【韓国側】 23 名 (社)韓日経済協会 常勤副会長 徐 錫崇 氏 （九州からの発表者） ・(公財)九州経済調査協会 調査研究部 研究員 福田 真也 氏 ・㈱石蔵商店 代表取締役 石蔵 義浩 氏 ・(一社)九州日韓経済交流会 専務理事 鈴木重幸 氏 ・(一社)九州経済連合会 総務国際部長 廣瀬 香 ・(一社)九州経済連合会 地域共創部長 矢野 佳秀
ベトナムとの経済交流事業		
2023/05/21	日越ビジネスラウンドテーブル参加 (チン首相へのＫＰＣのＰＲ) (広島市)	＜内容＞ Ｇ７広島サミットに合わせて来日したチン首相が参加する「日越ビジネスラウンドテーブル広島」が開催され、主に広島を中心とする中国地方の企業関係をはじめ、九経連からも倉富会長が参加。 チン首相に加えてベトナム政府高官などが多数参加する中、倉富会長は懇談の中で九州とベトナムのこれまでの交流の実績を紹介するとともに、KPC の PR を行った。
2023/10/06	ベトナム経済セミナー（日越外交関係樹立 50 周年記念事業としてのベトナムからの訪問団の受け入れ） (福岡市)	＜内容＞ 1973 年の日本とベトナムとの外交関係樹立から 50 年の節目となった 2023 年 10 月６日、ベトナムとのビジネス交流の拡大を目的とした「ベトナム経済セミナー」が福岡市で開催された。ベトナムからはレ・ティ・トゥ・ハン外務副大臣を筆頭に、ファム・クアン・ヒエウ駐日ベトナム大使、同国地方各省（日本の県に相当）や現地企業の関係者など、さらに九州側の行政・企業関係者も加えて総勢 400 名が参加。九州経済国際化推進機構では九州企業に対してセミナーへの参加を働きかけるとともに、当日は会場内にブースを設置し、ベトナムからの来場者に KPC や九州各県・企業の情報を提供するなど、九州の PR 活動を実施。

2024/01/16	ベトナム進出に向けた最新動向・法務解説＆食品販路拡大ウェビナー (オンライン)	＜内容＞ KPCのグランドオープニング後の活動状況やポストコロナにおけるベトナムの経済概況やベトナムへの企業進出等の情報を発信するウェビナーを開催。167 名が参加。 ＜主催者挨拶＞ (一社)九州経済連合会 会長 倉富 純男 九州ベトナム友好協会 会長 星野 裕志 氏 ＜来賓挨拶＞ 在福岡ベトナム総領事館 総領事 ヴー・チ・マイ 氏 ＜講演＞ ・「ベトナムの経済情勢について」 経済産業省 通商政策局 アジア大洋州課 参事官 神谷 幸男 氏 ・「ベトナム進出を成功させる３つのポイント」 明倫国際法律事務所 代表 田中 雅敏 氏 ・「ベトナムにおける日系企業の進出状況、食品市場動向」 JETRO ホーチミン事務所 事業統括ダイレクター 三木 貴博 氏 ・「グランドオープン後の K.P.C.の取組、活動概要について」 九州プロモーションセンター（K.P.C.） センター長 ブイ・マン・ハー 氏 ・「カミチクグループのベトナム進出について」 ㈱カミチクホールディングス 専務取締役 六次化推進部長 山下 大三 氏
2024/01/31 ～02/06	ベトナム調査渡航 (ホーチミン、ハノイ)	＜内容＞ 次年度以降の活動、ミッション派遣に向けた事前準備・調査のため、ホーチミン、ハノイへの調査渡航を実施。 幅広い現地企業や関係機関とのヒアリング、ネットワーキング構築に向けた活動を通じて、持ち帰った課題や情報をもとに、次年度以降の活動計画の起案・検討を行う。 ＜訪問都市、主な訪問先等＞ ホーチミン市、ハノイ市 在ホーチミン日本国総領事館、 在ベトナム日本国大使館、ベトナム国計画投資省、 JETRO、KPC その他在ベトナムの企業、団体等
タイとの経済交流事業		
2023/08/29	ヘルスケア関連産業におけるアジアへの海外展開推進ウェビナー (オンライン)	＜内容＞ 中国・韓国は日本と同様、高齢化が深刻であり、近年人口が増加傾向にあった ASEAN 諸国においても、タイ・シンガポールを筆頭に、高齢化の進行が喫緊の課題となりつつある。このような状況下、日本企業の高齢者向けのヘルスケア関連産業における海外展開が期待される。 中国及びタイを中心に、アジアにおけるヘルスケア関連産業の状況を伝えるとともに、海外進出を成功させている企業の事例を紹介する。 ＜講演＞ ・「中国における高齢者ケアビジネスの現状と課題」 独立行政法人日本貿易振興機構大連事務所 市場開拓部 部長 呉 冬梅 氏 ・「タイにおけるヘルスケアビジネスの展開について」 ㈱松永製作所 海外営業部長 早矢仕 真史 氏 ・「ヘルスケア関連産業の海外展開の課題と新たなアプローチ-MEJ の取組についての紹介-」 (一社) Medical Excellence JAPAN 事務局長 北野 選也 氏 ・「医療・介護の国際展開に係る経産省の取組について」 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長補佐 水口 怜斉 氏 ・「海外ビジネスにおける知財活用とリスク低減」 独立行政法人工業所有権情報・研修館 海外知的財産プロデューサー 鈴木 崇 氏 ・お知らせ：・環黄海経済・技術交流会議について ・タイとの経済交流事業について 九州経済産業局 国際事業課 〈視聴申込数〉116 名
2024/02/05 ～08	九州・タイヘルスケアミッション受入れ事前協議及びミッション調査渡航 (バンコク)	＜内容＞ ・「九州・タイヘルスケアミッション受入れ」の事前協議と次年度以降の活動、ミッション派遣に向けた調査渡航を実施。 ・幅広い現地企業や関係機関へのヒアリング、ネットワーキング 構築に向けた活動を通じて、持ち帰った課題や情報をもとに、今後、次年度以降の活動計画の起案・検討を行う。
2024/03/11 ～14	九州・タイヘルスケアミッション受入 (福岡市、 福岡県宮若市、 福岡県飯塚市、 大分市、 大分県別府市)	＜目的＞ 九州企業がタイの高齢化の進行に伴い拡大しているヘルスケア関連分野の市場への進出の契機となることを目指す。 ＜主催＞ 九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、 九経連 ＜共催＞ 在福岡タイ王国総領事館、タイ王国大使館経済・投資事務所（BOI 東京事務所）、タイ王国大使館工業部、タイ王国中小企業発展研究所（ISMED) ＜内容＞ ・タイからのミッションを迎え、九州企業とのマッチングや九州企業の機器・サービスの視察を行う事業を実施 ・タイからの来訪者：10 名 ・西鉄サンカルナ香椎照葉、新生堂薬局、フカノ楽器店の音楽介護予防事業、飯塚病院、顕田病院、アイリスおおいた、メディバレーおおいたを視察 ・九州側ヘルスケア関連企業とタイからの来訪者とのビジネスマッチング（商談会）

V 関連団体活動

西日本経済協議会

開催日	会合名	内 容
2023/04/04	第１回専務理事会議 (大阪市)	<議題> ・ 2023年度の活動の進め方等 ・ 2023年度分科会の取組み ・ 各経連2023年度の事業計画と重点取組事項
2023/04/26	第１回担当者会議 (金沢市)	<議題> ・ 2023年度の活動の進め方等 ・ 分科会の取組みについて ・ 当面の予定と依頼事項
2023/06/29	第２回担当者会議 (金沢市)	<議題> ・ 西日本経済協議会　総会及び要望活動の進め方等について ・ 決議文（要望書）案について
2023/09/14	幹事会 (金沢市)	<議題> ・ 第65回総会　開催概要 ・ 要望活動について ・ 分科会の進捗状況について
2023/10/17	第 65 回総会 (金沢市)	<議題> ・ 前年度活動報告 ・ 各地経済連合会からの発言 ・ 分科会活動報告 ・ 決議採択 <講演> 演題：日本政治のあり方を考える ―歴史的視点から― 講師：東京大学先端科学技術研究センターフェロー 御厨　貴　氏
2023/11/08	要望活動 (東京都)	<要望先> 首相官邸、内閣府、財務省、経済産業省、国土交通省、文部科学省、自民党本部

九州航空宇宙開発推進協議会

開催日	会合名	内容
2023/05/25	第１回幹事会 (福岡市) ※オンライン併用	<議題>(総会議案の事前審議) ・ 2022年度事業報告、決算報告 ・ 第3次アクションプラン ・ 2023年度事業計画案、収支予算案、役員選任案
2023/06/28	定時総会 (福岡市) ※オンライン併用	<議題> ・ 2022年度事業報告、決算報告 ・ 2023年度事業計画案、収支予算案、役員選任案 <特別講演会> 「航空・宇宙分野等における空間情報の収集とビジネス」 ㈱パスコ 衛星事業部　GEOIN 部　石岡　義則　氏
2024/03/18	第２回幹事会 (福岡市) ※オンライン併用	<活動状況報告、総括> ・ 九航協航空産業連絡会議(新 QAN) ・ 航空グリーン・イノベーション関連事業創生可能性調査 ・ 航空人材の育成と航空への啓蒙活動 ・ 九州宇宙開発ビジネス交流会 ・ 九州域内航空宇宙データベースに関する検討会 ・ 衛星データ利用に関する生産性・コスト実証を含む事例集の作成とビジネスモデルの検討 ・ 既存射場の活用研究会
種子島ロケットコンテスト大会		
2024/03/07	第20回種子島ロケットコンテスト大会	<技術発表会>　・ロケット部門 / CanSat 部門 <プレゼンコンテスト>　・ロケット部門 / CanSat 部門 <ワークショップ>　・ロケット部門 / CanSat 部門
九航協航空産業連絡(準備)会議		
2023/04/27	第 1 回定例会議 (福岡市) ※オンライン併用	<議題> ・新 QAN 体制＆連絡会議活動方針 ・九経連 2023 年度取組施策等説明 ・各自治体ご担当者より航空産業・製造業全般の支援策説明
2023/08/22	第 2 回定例会議 (福岡市) ※オンライン併用	<議題> ・ エアロマート名古屋の準備状況の説明と出展方針説明 ・ 第 2 回九州宇宙開発ビジネス交流会・九航協設立記念行事の案内 <講演> 「航空機産業の現状と今後の展望」 三菱重工業(株) 民間セグメント　営業推進部　武郷 孝拓 氏
2023/09/26	エアロマート名古屋出展 (名古屋市)	・ 新 QAN 会員のうち 1 社が参加 ・ 事前調整した商談を会場内で実施 ・ 会場内で神戸エアロネットワーク（KAN）との交流会再開を合意
2023/11/15	第 3 回定例会議 (福岡市) ※オンライン併用	<議題> ・エアロマート名古屋の出展報告 ・神戸エアロネットワーク(KAN)との交流会案内 <講演> 「航空機産業の特徴とサプライヤーへの期待」 航空宇宙システムカンパニー 航空宇宙生産本部長 笠原 彰二 氏
2023/11/15	第 2 回九州宇宙開発ビジネス交流会 （福岡市）	・九州宇宙開発ビジネス交流会と九航協創立 30 周年記念行事を“九州宇宙ビジネスキャラバン 2023 福岡”として実施
2024/02/06	他地域クラスター交流会	神戸エアロネットワーク(KAN)との交流会 ・同クラスターの事業部会へ参加 ・同会員企業(佐藤精機㈱)の工場視察・意見交換
2024/02/20	第 4 回定例会議(福岡市) ※オンライン併用	<議題> ・ 2023 年度事業報告 ・ 2024 年度事業計画（案）
オール九州による宇宙開発促進に向けた射場活用研究会		
2023/10/13	第９回研究会 (福岡市) ※オンライン併用	・以下を研究テーマとすることを提案 「内之浦の射場及び関連設備の保守改善と打上げの高頻度化へ向けての設備計画」 「民間ロケット事業者への施設供与と宇宙輸送環境の整備」
2024/02/05	第10回研究会 (福岡市) ※オンライン併用	・今後の要望事項の提出時期や要望書の提出先の提案と確認

知的財産権研究会

開催日	会合名	内 容
2023/04/21	第 399 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「阻害要因を俯瞰して考える、実務への活かし方 判例紹介、排斥の範囲と目的に反するレベルの検討」 ㈱三井ハイテック　山田 修大 氏 <報告> 「プラットフォームの過失認定の中日比較」 墾丁法律事務所　林 娜 氏
2023/05/19	第 400 回 定例会 (福岡市)	<報告>「氏名を含む商標の登録の可否－－ マツモトキヨシ事件と最近の商標法改正」 佐賀大学　孫 友容 氏 <報告>「特許データのマクロ分析と市場調査データとを 組み合わせた技術開発テーマの市場性分析」 ㈱パソナナレッジパートナー 三谷 力 氏、戸田 俊之 氏
2023/06/16	第 401 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「特許権侵害損害賠償請求控訴事件ソレノイド事件 ～明細書を参酌した結果、両判決の結論が異なった事件～」 加藤国際特許事務所　白垣 耕一郎 氏 <報告>「著作権と紐付く NFT の譲渡について」 西南学院大学　原 謙一 氏
2023/07/21	第 402 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「未公開知財判決の調査により発見した重要事件の紹介」 関西学院大学　谷川 和幸 氏 <報告>「VR･AR における商標の保護」 福岡大学　平澤 卓人 氏
2023/08/25	第 403 回 定例会 (福岡市)	<報告>「著作権と修理する権利」 福岡工業大学　橘 雄介 氏 <報告>「最新のランサムウエア攻撃から知的財産を守る サイバーＢＣＰ体制構築実務」 三井物産セキュアディレクション㈱ 藤岡 福資郎 氏 「時代遅れの著作権解釈が四半世紀も日本を停滞させてきた 真犯人だった」 米国弁護士（ﾆｭｰﾖｰｸ州、首都ワシントン）、GLOCOM 客員教授、元 NTT アメリカ副社長、元成蹊大学法学部教授 城所 岩生 氏
2023/09/15	第 404 回 定例会 (福岡市)	<報告>「サブコンビネーション発明の権利化について」 東京エレクトロン九州㈱　山崎 夏樹 氏 <報告>「近時の裁判例からみる『実演家の権利侵害』判断」 東京大学　古場 和美 氏
2023/10/20	第 405 回 定例会 (福岡市)	<報告>「知的財産法が『輸出』を規制することの意義」 九州大学　小島 立 氏 <報告>「続･『ドワンゴ vsFC2』～大合議判決から見る 海外サーバへの権利行使の可能性～」 弁理士法人 IPX　押谷 昌宗 氏
2023/11/17	第 406 回 定例会 (福岡市)	<報告>「AI による情報解析と法規制（リーガルテック･薬機 法の規制から考える未来）」 青山法律事務所　青山 隆徳 氏 <報告>「仮想空間におけるデザインの保護」 九州大学　麻生 典 氏
2023/12/15	第 407 回 定例会 (福岡市)	<報告>「どうしてますか？マルチマルチクレームの制限対応 ～ 審査官と弁理士の立場から考えてみる～」 kakeruIP 弁理士法人　下井 功介 氏 <報告>「独占禁止法から考える知的財産権 ～基本の再確認と最新事例のアップデート～」 平山法律事務所　平山 賢太郎 氏
2024/01/19	第 408 回 定例会 (福岡市)	<報告>「ピタバスタチン Ca 事件について ～先使用権の検討～」 三菱造船㈱　谷口 真一 氏 <報告>「回転寿司業界の知財ミックス」 ㈱西部技研　下茂野 香名江 氏
2024/02/16	第 409 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「結合商標の類否判断～審判実務者研究会報告書 2022 より～」 ㈱タカギ　大山 浩志 氏 <報告>「AI を利用した『キャンディ･キャンディ事件』の論点分析」 大橋法律事務所/藤岡行政書士法務事務所 藤岡 希美 氏
2024/03/15	第 410 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「外野席から見た地理的表示～お役所同士の縄張り争いで難産を経 て生まれた制度と、そのとばっちりを受けた『八丁味噌』～」 北九州市立大学　石橋 一郎 氏 <報告> 「特許無効審判を通して見えた分割出願における課題の認定」 ㈱三井ハイテック　桃田 大介 氏

九州 IR 推進協議会

開催日	会合名	内 容
2023/06/07	MICE ビジネスセミナー （長崎県佐世保市）	103 名 ･九州･長崎 IR の経済効果を地元に取り込むために ･MICE ビジネスについて
2023/09/05	IR ビジネスセミナー （長崎県佐世保市）	87 名 IR がもたらすビジネスチャンスとは？ ～地元調達促進と街の変化～

九州国際医療機構

開催日	会合名	内 容
2023/04/01	事務局機能の一部委託	アンドメディカルコンサルティング㈱に事務局機能の一部委託を開始
2023/04/01	書面開催	役員改選
2023/06/27	幹事会 （福岡市） ※オンライン併用	2023 年度事業計画を審査し、理事会（書面）に諮ることとした。 <議題> ･2022 年度 活動報告 ･2022 年度 収支報告書 ･2023 年度 事業計画書 ･2023 年度 収支計画案
2023/12 ～2024/01	事務局による理事団体個別訪問	with コロナ以降の活動方針について理事団体の意向を確認
2024/02/14, 15,16,22, 03/26	ワーキング開催	医療渡航者の九州誘致をテーマにワーキングを開催

九州の食輸出協議会

開催日	行事の名称等
2023/06/21	2023 年度総会
2023/09/15,10/20,24	PPIH（カリフォルニア、ハワイ）九州フェア商談会
2023/09/26	2023 年度第 1 回定例会及び第 1 回セミナー
2023/11/08～27	イオンカンボジア 九州フェア開催
2023/11/02～12	イオンマレーシア 九州フェア開催
2023/11/24～12/07	大潤發 九州フェア開催
2023/12/05	2023 年度第 2 回定例会
2023/12/08	2023 年度第 2 回セミナー＆第 1 回賛助会員マッチング（商談会）
2023/01/12~28	デイリーファーム 九州フェア開催
2023/02/22～03/20	PPIH カリフォルニア 九州フェア開催
2023/02/28	2023 年度第 2 回賛助会員マッチング（商談会）
2024/03/27～04/16	PPIH ハワイ 九州フェア開催
2024/03/29	2023 年度九州の食輸出協議会、九州の食の輸出推進チーム合同会議

東九州軸推進機構

開催日	会合名	内 容
2023/05/11	第 1 回実務者会議 （オンライン）	<議題> 第 33 回総会議案
2023/05/19	第 1 回幹事会 （書面開催）	<議題> 第 33 回総会議案

2023/07/27	第 33 回総会 （鹿児島市）	＜議題＞ ・ 2022年度事業報告、収支決算報告 ・ 2023年度事業計画(案)、収支予算(案) ・ 役員改選(案) ・ 東九州地域の活性化推進に関する要望(案) ＜講演＞ 演題：「MaaS、物流、地域行政等分野へのヒアリングから見た高速道路空間の利便性向上への期待」 講師：(公財)高速道路調査会 総括研究員 坂本 香 氏
2023/08/02	東九州自動車道建設促進地方大会 （北九州市）	＜主催団体＞ ・ 東九州軸推進機構 ・ 東九州自動車道建設促進協議会 ＜大会決議＞ ・ 予算確保 ・ 未事業化区間の早期事業化 等、8 項目を決議 ＜講演＞ 演題：「九州の経済発展と交流インフラ」 講師：(公財)九州経済調査協会 常務理事兼事業開発部長 岡野 秀之 氏
2023/08/16	東九州地域の活性化推進に関する要望（郵送）	＜要望団体＞ ・ 東九州軸推進機構 ＜要望先＞ 国土交通省、内閣府、財務省、経済産業省、国会議員等
2023/11/07	東九州自動車道建設促進中央大会 (東京都)	＜主催団体＞ ・ 東九州軸推進機構 ・ 東九州自動車道建設促進協議会 ＜要望先＞ 国土交通省、財務省、自民党等

下関北九州道路建設促進協議会

開催日	会合名	内 容
2023/04/26	第 1 回幹事会 （福岡市）	＜議題＞ ・ 2022 年度事業報告、収支決算報告 ・ 2023 年度事業計画、収支予算(案) ・ 下関北九州道路早期実現に関する要望(案) ＜講演＞ 演題：「道路における官民連携の可能性について」 講師：㈱オリエンタルコンサルタンツ 関東支社 都市政策・デザイン部 次長 中村 実 氏
2023/07/03	2023 年度総会 (書面開催)	＜議題＞ ・ 2022 年度事業報告、収支決算報告 ・ 2023 年度事業計画(案)、収支予算(案) ・ 下関北九州道路早期実現に関する要望(案)
2023/08/16	下関北九州道路の早期実現に関する要望 （郵送）	＜要望団体＞ ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 関門連携委員会 ＜要望先＞国土交通省、財務省、自民党、公明党等
2023/10/22	下関北九州道路整備促進大会 （北九州市）	＜主催団体＞ ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 中国経連、九経連、関門連携委員会 ・ 下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・ 下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 ＜大会決議＞ 1．早期事業化に向け、国と 2 県 2 市が協力のもと、環境影響評価や都市計画課決定の手続きを進めること 2．PFI 等の活用など官民連携による効果的な整備手法の検討を促進すること 3．地域の観光資源としてのポテンシャルを高め、地域活性化に繋がる道路となるよう検討すること
2023/11/06	下関北九州道路中央要望 （東京都）	＜要望団体＞ ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 中国経連、九経連、関門連携委員会 ・ 下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・ 下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 ＜要望先＞国土交通省、財務省、自民党、公明党

九州経済国際化推進機構

開催日	会合名	内 容
2023/05/24	第 1 回幹事会 (福岡市)※ｵﾝﾗｲﾝ併用	＜議題＞ ・ 2022年度事業報告、収支決算・監査報告 ・ 2023年度事業計画(案)、収支予算(案)
2023/05/30	2023 年度総会 (書面開催)	＜議題＞ ・ 2022度事業報告、収支決算・監査報告 ・ 2023 年度事業計画(案)、収支予算(案)
2023/11/10	第 2 回幹事会 (福岡市)※ｵﾝﾗｲﾝ併用	＜報告事項＞ ・ 2023年度事業の進捗・現状報告 ・ 2024 年度事業に係るアンケート結果報告
アジア地域との経済・産業交流事業		
2023/10/06	ベトナム経済セミナー(日越外交関係樹立 50 周年記念事業としてのベトナムからの訪問団の受け入れ) （福岡市）	※海外との経済交流の項目を参照
2023/10/31	第 21 回環黄海経済・技術交流会議 (中国・大連市)	※海外との経済交流の項目を参照
2024/01/16	ベトナム進出に向けた最新動向・法務解説＆食品販路拡大ウェビナー開催（ｵﾝﾗｲﾝ）	※海外との経済交流の項目を参照
2024/01/31 ～02/06	ベトナム調査渡航 (ホーチミン、ハノイ)	※海外との経済交流の項目を参照
2024/02/05 ～08	九州・タイヘルスケアミッション 2023 事前協議及びﾀｲﾐｯｼｮﾝ調査渡航 (バンコク)	※海外との経済交流の項目を参照
2024/03/11 ～14	九州・タイヘルスケアミッション（受入れ事業） (福岡市、宮若市、飯塚市、大分市)	※海外との経済交流の項目を参照
海外ビジネス・経済情報提供事業		
2023/08/29 ～ 2024/02/07	海外展開支援セミナー (ｵﾝﾗｲﾝ・対面開催)	・ ヘルスケア関連産業におけるアジアへの海外展開推進ｳｪﾋﾞﾅｰ（08/29） ・ インドビジネスウェビナー～人口世界 1 位の市場へ挑む～（11/02） ・ 環境・エネルギービジネスにおける海外展開推進ｳｪﾋﾞﾅｰ（01/30） ・ 海外展開支援施策説明会&個別相談会 in 大分（02/07）
2023/11/21 ～ 2024/01/17	海外市場獲得ワークショップ (ｵﾝﾗｲﾝ・対面開催)	・ 第 1 回 基礎知識編(ｵﾝﾗｲﾝ)（2023/11/21） ・ 第 2 回 輸出準備編(ｵﾝﾗｲﾝ)（2023/12/13） ・ 第 3 回 模擬商談会編(対面)（2024/01/17）
海外販路開拓支援事業		
2023/06/05 ～ 2024/02/20	本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク定例会、セミナー（ｵﾝﾗｲﾝ）	蔵元の海外販路開拓に向けた取り組みを促進するため、「本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク」を発足。オンライン定例会及びセミナー(２回)による会員間の情報共有等を実施。
2023/09 ～2024/03	九州産食品の海外販路開拓推進事業	※九州の食輸出協議会の項目を参照

2024/01/23 ～27	「Kura Master」招聘事業 (福岡県、佐賀県、大分県)	フランスにおいて日本産酒類の普及・啓発に取り組む Kura Master（パリ市公認協会）と本格焼酎・泡盛の蔵元を視察、また、九州の本格焼酎の蔵元等の関係者との意見交換および本格焼酎のテイスティング会を開催。
高度外国人材の獲得支援＜留学生等の活用＞		
2023/12/22 2024/02/05	グローバル人材活用支援事業（留学生のための合同会社説明会） （ハイブリッド）	「九州グローバル人材活用促進協議会」や「九州高度外国人材活躍地域コンソーシアム」等と連携して、九州企業と留学生の就職促進に向けた「留学生のための合同会社説明会」を開催するとともに、「高度外国人材獲得・活躍推進セミナー」を開催し、地域企業の海外展開やグローバル対応を支援。
2024/02/21	高度外国人材獲得・活躍推進セミナー（オンライン）	
投資促進（外国企業誘致）事業		
2023/10/17	インダストリアルツアー in Kyushu 2023 (福岡県大牟田市、佐賀市)	九州地域への外資系企業の誘致や、外国企業と九州企業等との協業・連携を促進するため、在日外資系企業、駐日外国公館、外国政府関係機関等を対象として、九州の投資環境の説明、並びに、九州企業の現地視察等を行う「インダストリアルツアー in Kyushu 2023」を開催。
2024/03/12	外資系企業投資促進・誘致拡大セミナー ～台湾・日本（九州）経済交流フォーラム 2024～ (福岡市、台北市)	外国企業の更なる投資促進を図るため、九州と台湾双方のビジネス・投資環境をはじめ、投資支援策、企業進出事例等を紹介するフォーラムを開催。

福岡地域戦略推進協議会

開催日	会合名	内 容
2023/04/25	第１回幹事会 総会 （福岡市）	・ 2023～2025年度の事業方針 ・ 2022年度事業報告 ・ 2022年度会計収支決算書 ・ 2023年度事業計画 ・ 2023年度予算 ・ 役員の改選
2023/09/20	第２回幹事会 （福岡市）	・ 福岡市次期基本計画（マスタープラン）策定に向けた民間意見の取りまとめプロジェクト 提言（案） ・ 2023年度 事業計画の進捗(部会中間報告)(案) ・ 2023年度 予算進捗状況（案）
2023/10/24	第３回幹事会 （書面開催）	・ 福岡市次期基本計画（マスタープラン）策定に向けた民間意見の取りまとめプロジェクト 提言（案）
2023/12/19	第４回幹事会 （福岡市）	・ 都市創造部会長の退任及び専任について（案） ・ 産業創造部会における予算増額申請について（案） ・ FDC事務局の体制強化に向けた会員への事務局出向等の依頼について（案）
2024/03/22	第５回幹事会 （福岡市）	・ 2023年度事業報告（案） ・ 2023年度会計収支決算書（案） ・ 2024年度事業計画（案） ・ 2024年度予算（案） ・ FDC会員の除名手続きについて（案）

九州大学学術研究都市推進協議会

開催日	会合名	内 容
2023/05/18	第 1 回企画・情報会議(福岡市)	＜議題＞ ・ 2023年度第1回通常理事会議案書について ・ 九州大学学術研究都市推進協議会事業方針の進捗確認について
2023/07/06	第 2 回企画・情報会議(福岡市)	＜議題＞ ・ 2023年度国への要望活動について
2023/08/01	国への要望活動 (東京都)	＜要望書提出先＞ ・ 内閣府、経済産業省、国土交通省
2023/10/18	第 3 回企画・情報会議(福岡市)	＜議題＞ ・ 2024年度OPACK事業計画・予算について
2023/12/11	「九州大学学術研究都市」セミナーin 東京 2023 (東京都)	＜内容＞ ・関東地域を中心とした企業等を対象に、九大学研都市のまちづくりや大学等の研究活動を紹介するもの ＜講演次第＞ ・ 総合知で社会変革を牽引する大学へ（荒殿誠理事・副学長） ・ 脱炭素イノベーションを加速するAI材料探索（山崎仁丈教授） ・ 未利用炭素資源で炭素循環社会を創る(中林康治助教) ・ 診断用ヒト直交性酵素とアレルギー治療用経口ナノ粒子（森健准教授） ・ 食品品質および健康機能の評価・予測を可能にするフードミクス技術の確立(田中充准教授) ・ 環境ストレス応答医農薬品の分子設計・化学合成と生物活性（有澤美枝子教授）
2024/01/26	第 4 回企画・情報会議(福岡市)	＜議題＞ ・ 2023年度第2回通常理事会議案について

九州エネルギー問題懇話会

開催日	会合名	内 容
2024/03/06	常任幹事会 (福岡市)	<議題> ・ 役員交代について ・ 2023 年度事業報告（案）、決算報告（案） ・ 2024 年度事業計画（案）、予算計画（案）
2024/03/26	委員会 (福岡市)	<議題> ・常任幹事会議題と同一
2023/06/12	第１回 エネルギー講演会 （オンライン）	<演題> 「国際紛争を踏まえたエネルギー安全保障の重要性について」 <講師> ㈱ストラテジック・アソシエイツ・ジャパン代表取締役、 中京大学国際学部 客員教授　市川 眞一 氏
2023/10/17	第２回 エネルギー講演会 (福岡市) ※日本原子力学会 九州支部との共催	<演題 1> 「産業・暮らしを支える放射線応用技術」 <講師> 早稲田大学理工学術院総合研究所 教授 鷲尾 方一 氏 <演題 2> 「蓄電池分野で今何が起こっているのか？」 <講師> （一財）電力中央研究所 上席研究員 三田 裕一 氏
2024/02/08	第３回 エネルギー講演会 （オンライン）	<演題> 「GX 実現に向けての取り組みと今後の展開について」 <講師> （一財）日本エネルギー経済研究所理事、 政策研究大学院大学 客員教授 坂本 敏幸 氏
2023/05/30	第１回 会員企業視察	<視察先> ・九州電力㈱玄海原子力発電所
2023/10/04	第２回 会員企業視察	<視察先> ・九州電力㈱八丁原地熱発電所
2023/08/08 ～09	九州教職員ﾈｯﾄﾜｰｸ 第１回意見交換会	台風のため中止
2023/12/02	九州教職員ﾈｯﾄﾜｰｸ 第２回意見交換会 （オンライン）	<内容> エネルギー環境教育実践状況の確認および今後の課題と対応策 <ファシリテーター> 長崎大学教育学部 教授　藤本 登 氏 福岡教育大学教育学部 教授 坂本 憲明 氏 長崎大学教育学部 准教授 土肥 大次郎 氏 福岡教育大学教育学部 准教授 石橋 直 氏
2024/02/28 ～03/01	九州教職員ﾈｯﾄﾜｰｸ ｴﾈﾙｷﾞｰ関連施設視察	<視察先> ・J-POWER 電源開発㈱ 大間原子力建設所 ・日本 CCS 調査㈱ 苫小牧 CCS 実証試験センター

2023/06/14	第 125 回 ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (福岡市)	<講演> 演題：佐賀からチャレンジし続けて－小さな背伸びが Global な活動へ－ 講師：ｴﾈﾙｷﾞｰ広報企画舎 代表 高木 理恵子 氏
2023/09/19 ～20	第 126 回 ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (広島県)	<視察> ・大崎クールジェン㈱ CO2 分離・回収型酸素吹付石炭ガス化燃料電池複合型発電設備
2023/11/27 ～28	ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (鹿児島県)	<視察> ・ 九州電力㈱川内原子力発電所 ・ 九州電力㈱山川地熱発電所
2024/03/13	第 127 回 ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (福岡市)	<講演> 演題：日本のエネルギー転換の課題 講師：（一財）日本エネルギー経済研究所 理事 久谷 一朗 氏
2024/02/17 ～18	第 59 回 ｴﾈﾙｷﾞｰ教育研究･企画会議 (福岡市)	<内容> ・ 実践事例紹介 エネルギー環境問題最新情報の提供
適宜	講演会 (九州各県)	<議題> ・ エネルギー・環境問題や放射線について 次世代層、経済団体等 23 回 1,357 名

九州・沖縄地方産業競争力協議会

開催日	会合名	内 容
2023/09/07	第１２回九州・沖縄地方産業競争力協議会 （福岡市）	<議題> ・ 九州・沖縄Earth 戦略Ⅱ 各プロジェクトの進捗状況について

九州・沖縄文化力推進会議

開催日	会合名	内 容
2023/07/05	令和５年度幹事会 (福岡市)	<議題> 令和４年度事業報告及び決算報告、令和５年度事業計画及び予算、令和６年度事業計画(案)、博物館等連携部会
2023/08/07	令和 5 年度九州・沖縄文化力推進会議 (書面審議)	<議題> 令和４年度事業報告及び決算報告、令和５年度事業計画及び予算、令和６年度事業計画(案)、博物館等連携部会
2024/03/07	臨時幹事会 (オンライン)	<議題> 令和7年度以降の取組について、九州・沖縄文化力推進会議公式Instagramについて
2024/03/07	九州・沖縄文化力推進会議 (書面審議)	<議題> 九州・沖縄文化力推進会議Instagram運用ポリシー等について
-	発行物	ミュージアム周遊パス（20,000 部）

九州 DX 推進コンソーシアム

開催日	会合名	内 容
2023/04～ 2024/03	事務局会議	・ 定例会議（月１回） ・ 各ＷＧの活動状況報告等
2023/04～ 2024/03	WG 活動	・ デジタル人材育成ＷＧ ・ 地域オペレータＷＧ ・ 社会課題(ｳｪﾙﾋﾞｰｲﾝｸﾞ住宅・ｶｰﾎﾞﾝﾆｭｰﾄﾗﾙ) ＷＧ ・ 地域企業向けDX導入支援コンサル業ＷＧ ・ カーボンニュートラルＷＧ ・ 九州ID・データ連携ＷＧ ・ デジタル防災・減災ＷＧ
2023/05/23	第２回総会 (福岡市)	<議題> ・ コンソーシアムの活動報告 ・ WG活動プラン等年間活動計画 ・ 規約の一部変更
2024/03/06	九州 DX 推進コンソーシアム Web シンポジウム	<次第> ・ デジタルを活用したカーボンニュートラルの取組事例 ・ 地域の中小企業のDXを進めるためには？ ・ デジタルを活用した防災・減災の取り組み事例 ・ 地域で育てるデジタル人材

Ⅵ 事務局の取組

【記者会見】

2023/05/12	第 173 回理事会（福岡市）
2023/06/01	第 43 回九州地域戦略会議（沖縄県名護市）
2023/06/06	第 63 回定時総会（福岡市）
2023/08/02	第 8 回九州・大学発ベンチャー振興実践会議（福岡市）
2023/08/22	九州防災 DX タスクフォース設立（福岡市）
2023/09/21	第 175 回理事会・審議員合同会議（福岡市）
2023/10/26	第 44 回九州地域戦略会議（佐賀市）
2024/02/14	第 8 回九州・大学発ベンチャー振興会議（福岡市）
2024/03/04	第 74 回九州経済懇談会（福岡市）
2024/03/18	第 176 回理事会（福岡市）

【会長コメント発信】

2023/04/14	九州・長崎 IR について
2023/12/27	九州・長崎 IR 不認定について
2024/02/07	TSMC 第 2 工場の建設について

【プレスリリース（資料提供）】

2023/05/17	九州ＤＸ推進コンソーシアム第 2 回総会の開催
2023/05/19	第 43 回九州地域戦略会議の開催
2023/05/23	マイナビ ツール・ド・九州 locus（ローカス）プログラム スタート
2023/06/02	九州Ｍａａ Ｓグランドデザイン策定
2023/07/26	第 8 回九州・大学発ベンチャー振興実践会議及び共同記者会見の開催
2023/07/26	東九州軸推進機構第 33 回総会及び講演会の開催
2023/07/27	九州地域戦略会議「第 20 回夏季セミナー」の開催
2023/08/10	下関北九州道路整備促進大会の開催
2023/08/16	九州防災 DX タスクフォース設立とその取組内容について
2023/08/24	2023 年度宮崎地域委員会の開催
2023/08/24	農林水産省藤木政務官への本会要望書の手交
2023/09/04	2023 年度熊本地域委員会の開催
2023/09/08	2023 年度筑後地域委員会の開催
2023/09/15	2023 年度鹿児島地域委員会の開催
2023/09/21	2023 年度長崎地域委員会の開催
2023/10/03	西日本経済協議会第 65 回総会及び代表者記者会見の開催
2023/10/06	2023 年度大分地域委員会の開催
2023/10/06	半日先までの積乱雲危険度予測情報の開発開始
2023/10/17	西日本経済協議会第６５回総会開催結果
2023/10/17	第４４回九州地域戦略会議の開催
2023/11/06	西日本経済協議会による政府等への要望活動の実施
2023/11/08	SDGs への貢献につなげる九州マッチング会を初開催
2023/11/20	2023 年度山口・北九州合同地域委員会の開催
2023/11/22	2023 年度佐賀地域委員会の開催
2023/12/11	第 16 回沖縄連携フォーラムの開催
2024/02/06	第 8 回九州・大学発ベンチャー振興会議及び共同記者会見の開催
2024/02/13	2023 年度熊本・鹿児島合同地域委員会の開催
2024/02/16	九州経済四団体による構造的な賃上げに関する共同宣言
2024/02/19	第 74 回九州経済懇談会の開催

【要覧等】

2023/07	九経連要覧

【会報誌】

4,7,10、1 月	九経連四季報「あすの九州・山口」

Ⅶ　本会要望・意見等

2023/05	**観光・デジタル共創ＫＹＵＳＨＵ宣言（共同宣言　於　九州地域戦略会議）** **以下、抜粋** 九州はデジタルの力を最大限活用することにより、直面する社会課題の解決を成長エンジンへと転換し、持続可能な地域社会を創造していくことが重要である。 また、九州の基幹産業となることを目指す観光産業では、社会情勢の変化に伴う観光の機運の高まり、持続可能な観光への関心の高まりや、旅行ニーズの多様化など環境が大きく変化している。 我々は今後、持続可能な地域社会の先進的モデルを構築するため、以下の取組を重点的に進めることを宣言する。 １ デジタルの力による社会課題の解決に向けた取組の加速化・深化 ２ 地域経済や地域の持続的な発展を牽引する観光の実現
2023/08	**国の施策に関する要望　～九州・山口地域における農林水産業の振興に向けて～** 農林水産業の事業基盤強化及び成長産業化、農林水産物・食品の輸出促進を中心に、農林水産省に対し、主に以下の項目を要望。 1　(共　　通)適正な生産コストを販売価格へ転嫁する仕組みづくり 2　(農畜産業)輸出相手国・地域の検疫条件改善 3　(林　　業)国産木材の利用促進と森林整備予算の安定的な財源確保 4　(水 産 業)養殖業の産業競争力強化
2023/08	**九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望** 地域経済の一体的な発展を促進し、地方創生を実現するため、九州域内の道路、鉄道、港湾、空港の整備促進全般について、以下の項目を要望。 1　道路整備等について 2　鉄道整備等について 3　港湾整備等について 4　空港整備等について 5　地域交通及び物流機能の維持・確保について
2023/08	**東九州地域の活性化推進に関する要望(東九州軸推進機構)** 東九州自動車道をはじめとする高速交通体系の整備及び南海トラフ巨大地震への備えとして防災・減災、国土強靭化のための社会資本の整備などを求め、以下の項目を要望。 1　循環型高速交通網の整備拡充（高規格道路等の整備促進） 2　交流・連携に不可欠な社会資本の整備 3　産業振興・地域活性化の促進

2023/08	**下関北九州道路の早期実現に関する要望** **(下関北九州道路建設促進協議会・関門連携委員会)** 既存道路ネットワークの課題の解消や関門トンネル及び関門橋の代替機能の確保、循環型ネットワーク形成による下関北九州地域の一体的発展、さらには、国土強靭化を進めるためにも、下関北九州道路の早期事業着手が進められるよう、以下の事項を要望。 1　下関北九州道路の早期実現を図ること 2　事業化に向けて、必要な調査を遅滞なく実施するとともに具体的な方策の検討を進めること 3　これらの調査・検討に必要な予算を確保すること
2023/10	**九州地域の強みを生かした安全保障確立宣言（共同宣言　於　九州地域戦略会議）** **以下、抜粋** 著しくデジタル化が進展する今、九州地域の未来の発展に向けては、あらゆる製品に使用され世界標準の基幹部品となっている半導体需要の急速な拡大を取り込み、半導体生産の拠点として、日本経済の一翼を担っていくべきである。 また、日本の食料供給基地「フードアイランド九州」は、多様な担い手の育成・確保とともに、農産物等の輸出を促進することにより、九州地域の農林水産業の更なる成長産業化を推進し、日本の食料安全保障の確立に貢献していくことが期待されている。 我々は、激動する社会情勢の変化に対応し、持続可能な地域社会の先進的モデルを構築するため、以下の取組を重点的に進めることを宣言する。 1　経済の安全保障（「新生シリコンアイランド九州」の実現） 2　食料の安全保障（「フードアイランド九州」の更なる推進）
2023/11	**変革による活力と魅力溢れる地域の創生～行動する西日本が拓く未来～** **（西日本経済協議会）** 1　イノベーションの促進による成長産業の創出 2　GX（グリーントランスフォーメーション）の実現に向けた取り組みの推進 3　地方創生の強力な推進、新たな時代に合わせた経済社会モデルの構築 4　広域連携と国土強靭化に向けた社会基盤整備

一般社団法人　九州経済連合会

事　務　局　　〒810-0004
福岡市中央区渡辺通２丁目１番82号 電気ビル共創館６階
TEL　092-761-4261（代表）　FAX　092-724-2102

報告事項２－１

2024 年度 事業計画

Ⅰ．基本的考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ．2024 年度事業の方針・概要 ・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅲ．2024 年度の活動・ＫＰＩ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

Ⅳ．理事会・総会等の主要スケジュール ・・・・・・・・・・・ 10

（付１）活動一覧（委員会、戦略会議、懇談会、事務局） ・・・・・ 11

（付２）関連団体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

一般社団法人
九州経済連合会
Kyushu Economic Federation

Ⅰ　基本的考え方

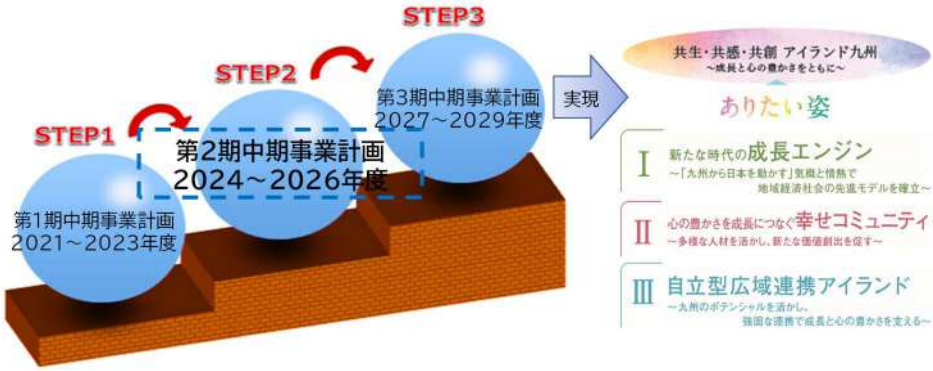
コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中、日本経済は着実に持ち直してきており、今後さらに、インバウンドの増加や国内投資拡大などにより、より一層の回復が期待される。一方で、長引く円安、中国経済の下振れリスク、ロシアによるウクライナ侵攻、不安定な中東情勢などによる日本経済および世界経済への影響については、引き続き注視していかなければならない。

一方、九州においては、TSMC の熊本への進出をはじめとして、半導体関連産業において活発な設備投資が行われている。このチャンスを確実に活かし、「新生シリコンアイランド九州」を実現することは、九州の成長エンジンを育て、九州経済の成長を促進するにとどまらず、日本全体の経済成長および経済安全保障にとっても極めて重要な課題である。

また、気候変動は、世界的な食料生産の不安定化をもたらし、世界情勢の不安定化や足元では担い手不足なども加わって、食料安全保障の強化が重要な課題となっている。そして、気候変動の影響により、九州においても毎年のように大規模災害が発生している。GX 推進や農業活性化、災害への対応も重要な課題である。

その他にも、地域の公共交通の維持、DX 推進による各産業の生産性向上、適正な価格転嫁と賃上げによる成長と分配の好循環の実現、多様な人材の確保など、私たちは多くの課題に取り組んでいかなければならない。

このような環境認識と課題認識を踏まえ、また、地域の課題についても反映して、九州将来ビジョン 2030 実現に向けての第 2 ステップとなる第 2 期中期事業計画（2024～2026 年度）を策定した。本事業期間においては、「“九州から日本を動かす”新たな価値の創出 ～地域の声を活かした飛躍に向けての挑戦」をテーマに取り組む。



幸いなことに、九州には、従前から半導体関連産業が一定程度集積していることや農業生産が盛んであること、クリーンで安価なエネルギーに恵まれていることなど、多くの強みがある。それらの強みを十分に活かしながら、様々な課題を解決し、九州将来ビジョン 2030 に描いた 3 つのありたい姿「新たな時代の成長エンジン」「心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ」「自立型広域連携アイランド」を実現して九州を元気にし、九州から日本を元気にしていけるよう、取り組んでいく。

Ⅱ　2024 年度事業の方針・概要

2024 年度は、第２期中期計画の初年度として、本会会員を中心とした九州地域の皆様の声を委員会活動に反映しながら事業を展開していく。具体的には、第２期中期計画の「11 の重点戦略」（と「具体的取組」）に沿って活動を行い、2024 年度の到達目標（ＫＰＩ）の達成を目指す。

主な活動・ＫＰＩ（2024 年度）　※【継】昨年度から継続　【新】今年度新規性有り　※[　]は 2023 実績

11 の重点戦略（2024～26 年度）	主な活動（2024 年度）	主なＫＰＩ（2024 年度）
1.新生ｼﾘｺﾝｱｲﾗﾝﾄﾞ九州の実現 ～半導体関連産業を中心とした産業集積支援と新たなまちづくり等に向けた取組	▷「新生ｼﾘｺﾝｱｲﾗﾝﾄﾞ九州」実現へ、全体像・課題を整理【新】 ▷台湾企業との協業支援、海外ミッション派遣【新】	▷協議体設置（6 月戦略会議）・WG 始動 ▷協業モデル構築
2. 各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援	▷「地域 DX 促進活動支援事業」の実施【継】 ▷海外小売店での九州フェア開催（各県出品拡大）【継】 ▷企業研修への農業カリキュラム導入や援農アプリ活用【継】 ▷耕作放棄地の活用モデルの検討【新】 ▷中山間地における「スマート農業導入モデル」各県展開【継】 ▷九州各県と連携した木材サプライチェーンの構築、地元材による供給情報の集約・活用【継】	▷支援企業 25 社 [→:25 社] ▷九州ﾌｪｱ開催５ヵ国・地域 [→:5 ヵ国〃] ▷農業労働力支援企業 3 社 [↑:2 社] ▷モデル活用事例３件 [↑:0 件] ▷木造非住宅の新規計画１件以上 [↑:0 件]
3. GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組	▷技術保有企業と自治体の脱炭素ﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ共催【継】 ▷ESG 投融資の拡大に資する県域を越えるﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの組成【継】 ▷再エネ主力電源化や原子力最大限活用、水素の利活用等の国要望【継】	▷選定地域３件/1 回 ▷広域連携ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ組成１件 [↑:0 件]
４．産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援	▷九州域外からの資金調達支援【継】 ▷域外への九州発スタートアップの魅力の発信【継】 ▷ﾍﾞﾝﾁｬｰｷｬﾋﾟﾀﾙや投資ﾌｧﾝﾄﾞ等との連携及び支援【継】	▷資金調達率全国比 3.5% [↑:3.2%] （出所：Japan Startup Finance 2023）
５．アジア地域諸国・世界との連携強化	▷ベトナム経済交流ミッションの派遣（2025.3）【継】 ▷九州ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ in ﾊﾉｲ(KPC)のプロモーション【継】 ▷World One Health Congress 2028 等国際会議誘致支援【新】	▷参加企業 20 社 50 名 [↑:13 社 36 名] ▷KPC 月間来場者 1,200 名 [↑:970 名]
６.産学官連携による高度専門人材の育成支援	▷「受入企業・参加学生の拡大方法」「ｽｷｰﾑ・運営方法」等の課題整理を行い、実施スキームを策定【継】	▷ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ参加 13 社/22 名[↑:11〃/20〃] 九州広域への拡大スキームの策定
7. 九州地域の経済・産業活性化による所得・給与向上の取組	▷九州地域戦略会議への九州経済四団体共同の取組報告、九州各県による賃上げ企業への支援拡充の働きかけ【新】	▷九州全県での支援拡充
8. 多様性・包摂性ある風土の醸成	▷九州目線でのジェンダー平等推進へ、法整備提言【新】 ▷女性管理職ﾈｯﾄﾜｰｸ「WE-Net 福岡」の九州広域化【新】 ▷全企画部会等への会員企業女性管理職の参画促進【新】	▷提言公表（12 月） ▷WE-Net「九州」研修会 2025.1 開始 ▷女性管理職の参画 10 名以上 [↑:4 名]
9. ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進	▷事業化・事業の早期実現に向けた大会開催等【継】 ▷「九州広域ﾃﾞｰﾀ連携ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ（QDP）」の検討【継】 ▷オープン/パーソナルデータのユースケース選出、PoC 等の実施による課題整理【継】 ▷デジタル認証 ID 導入へ、サービスを比較検討【継】 ▷九州 MaaS「協議会」設立、「ｻｰﾋﾞｽ」開始【継】	▷要望事業の着実な整備進捗 ▷データ連携基盤の在り方の決定 ▷ユースケースの決定 ▷デジタル認証 ID の決定 ▷設立総会：4 月、ｻｰﾋﾞｽ開始：８月頃
10. 地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援	▷災害情報活用における広域連携へ、PoC 実施【継】 ▷瞬低・瞬停ﾘｽｸ低減へ、落雷予測技術の有効性検証【継】 ▷サービスの企画・検討（九州防災 DX ﾀｽｸﾌｫｰｽ活用）【継】	▷広域連携の実証 2 件以上 [↑:1 件] ▷予測情報サービス実証 5 社 [↑:0 社] ▷企画・PoC 準備 1 件 [↑:0 件]
11. 九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決	▷ツール・ド・九州 2024 と持続可能な運営を支援【継】 ▷大会をフックとした地域活性化事業の協業支援【継】 ▷外国人材活躍による人材確保施策の推進【新】 ▷交流・関係人口拡大に向けた取組【継】	▷2025 大会開催県拡大 [↑:3 県] ▷地域活性化事業×開催 3 ｴﾘｱ [→:3〃] ▷地域資源活用ﾓﾃﾞﾙ創出 x 2 ｴﾘｱ [→:2〃]

<参考> 2023 年度主な事業の振り返り

【中期戦略Ⅰ】地域共創 with コロナ

経済対策

会員向けメッセージや、国・自治体への要請を機動的に発信

2 月　九州経済四団体による構造的な賃上げに関する共同宣言を実施

【中期戦略Ⅱ】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

産業創造

リーディング産業

半導体産業基盤の強化に向けたオールカ州での戦略展開

10 月　産官学金協議開始を決定、3 月　産官学金各分科会にてビジョンを検討、課題を整理
通期：九経連会員と連携した「九州半導体人材育成等コンソーシアム（事務局：九州経済産業局）」の活動を支援

航空宇宙産業の市場創出・拡大

7 月　九州航空宇宙開発推進協議会総会にて、 第 3 次アクションプランを展開した事業計画を承認・始動

イノベーション DX

切れ目のないスタートアップ支援体制の構築

2 月　九州・大学発ベンチャー振興会議にて、13 大学 27 シーズ、6,300 万円のギャップ資金を提供

九州が一体となった DX の実践

4-3 月　中小企業伴走支援：25 社　 7-12 月　ICT 人材インターンシップ（11 企業,7 大学 20 名の学生が参加）
2 月　DX 情報交換会（主催:　山口・九州全県・九経連）、3 月　DX シンポジウム

カーボンニュートラル

地域企業の脱炭素経営の推進

2 月「九州・沖縄・山口 ESG 投融資推進会議」において、投融資実績に基づいた方向性を検討

官民連携による地域脱炭素の推進

11 月　地域脱炭素の実現に向けた地方公共団体と企業のマッチングイベントを共催（熊本、沖縄）

地域共創

地域の「稼ぐ力」を高める

魅力ある九州の「農林水産業活性化共創モデル」づくりへのチャレンジ

5 月、10 月、11 月、3 月　モクビル研究会を開催、サプライチェーンと業種横断のネットワーク構築を推進
通期：　海外で九州フェアを開催（イオン マレーシア・カンボジア、台湾 大潤發、香港 デイリーファーム、米国 PPIH　等）
通期：　中山間地域のスマート農業導入モデルを策定（鹿児島県にて実施。労働時間削減効果など生産者メリットを見える化）
10 月　九州各県と連携し、企業の農業参入セミナーを経団連と共催（経団連会館、参加者 134 名）

「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」の九州を実現する観光 SDGs 推進

5月　第三期九州観光戦略を策定、承認（戦略会議）、10 月　第一次アクションプランを策定

人の流れをつくる

「ツール・ド・九州 2023」の開催

10 月　第 1 回大会（福岡・熊本・大分）を実施（観客数 88 千人、経済波及効果 26.1 億円）
5-1 月　大会をフックとした地域貢献事業【高校生向け探究学習プログラム「locus」】を実施

九州・長崎 IR の早期開業へ向けた取組への協力

12 月　ＩＲ審査委員会から「不認定」の発表

地域を支える担い手と関係人口拡大に資する活動

7 月以降　農業体験者の拡大（援農アプリの企業としての活用、2 社 19 名のボランティア派遣を実施）
5-2 月　うきは）地方創生事業提案　 肝付）宇宙まちづくり課連携　 指宿）インバウンド商品組成
9 月　食品ロスの削減、耕作放棄地の活用、周遊の促進に向けた提案を実施　（福岡県うきは市）

多様な人材が能力を発揮できる

ジェンダー不平等を乗り越えるための官民一体の取組

8 月「ジェンダー主流化」機運醸成（夏季セミナー）、11 月「企業版ジェンダーギャップ指数」会員調査
1 月　ながさき女性活躍推進会議×沖縄県経営者協会女性リーダー部会による意見交換会

産業競争力強化に向けた高度外国人材の獲得に資する取組

4 月「国内投資拡大のための官民連携フォーラム」にてインターナショナルスクールの環境整備を要望
7-11 月　高度外国人材の九州域内就職率の向上へアンケート等、1 月「九州高度外国人材活躍地域コンソーシアム」発足

安心して暮らし続けられる

デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、モデルプロジェクトの検討・実施

8 月　会員企業 4 社と「九州防災 DX タスクフォース」を設立

自動運転)「レベル4」解禁に伴う社会実装プロジェクトの取組強化

12 月　国土交通省物流・自動車局などを講師に、自治体・事業者向けの自動運転セミナーを開催

「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取組

10 月、12 月　次世代育成 PT の活動支援（会員向け情報提供など）

【中期戦略Ⅲ】みらいへの投資(基盤整備)

データ駆動型社会

「スマートリージョン構想」の推進

8 月　官民「広域データ連携プラットフォーム検討会」発足・4 回開催、12-2 月　ユースケースアイデアを公募

インフラネットワーク

地域公共交通ネットワークの維持及び観光活性化に資する「九州 MaaS」実装

5 月　「グランドデザイン」承認（戦略会議）、 7 月　「実行組織準備会」を設置
10 月　戦略会議承認「共通 PF のベンダー優先交渉権者」「官民負担の基本枠組」「協議会設立」等

海外展開プラットフォーム

広域連携を活かしたアジアとの繋がりの強化

ミッション受入　10 月　ベトナム（外務副大臣懇談）（福岡）、3 月　タイ・ヘルスケア（福岡、飯塚、大分）

Ⅲ　2024 年度の活動・ＫＰＩ

第 2 期中期事業計画（2024～2026 年度）における「重点戦略」の「具体的取組」に沿って、2024 年度の活動計画を記載。

重点戦略１　「新生シリコンアイランド九州」の実現　～半導体関連産業を中心とした産業集積支援と新たなまちづくり等に向けた取組

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

①　九州地域戦略会議と連携した「新生シリコンアイランド九州」の実現

・九州地域戦略会議の産官学金による協議の場において、「新生シリコンアイランド九州」実現のための全体像を描き、まちづくり等を含めて網羅的に課題を整理
・課題解決に向けた産官学金の役割分担を明確化し、具体的取組を支援

【*KPI*】　・協議体（6 月戦略会議）の設置　　・課題解決に向けた WG 活動始動

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

②　半導体関連企業及び半導体ユーザー企業の誘致・育成支援

・台湾企業との協業支援、及び海外への経済交流ミッションの派遣　※2024 年度下期予定

【*KPI*】　協業モデル構築

重点戦略２　各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

①　九州全域での中堅・中小企業に対する DX 支援の推進

- 中堅・中小企業の DX を更に推進するため、2022 年度経済産業省補助事業「地域 DX 促進活動支援事業」を継続実施（「九州 DX 推進コンソーシアム」を活用）
- 地域委員会会員企業の課題ヒアリング＆ベンダーマッチング（「九州 DX 推進コンソーシアム」を活用）
- シンポジウムや相談会等の開催を通じ、DX 推進に係る啓発活動を実施

【*KPI*】支援企業 25 社

〔地域共創委員会〕

具体的取組

②　食品の輸出拡大に向けた官民共同プロモーションによる各種輸出フェア等の連携実施

- 九州地域戦略会議「輸出分科会」との協働による、海外でオール九州でのフェア出展（2025 年２月予定）
- 「九州の食の輸出推進チーム*」の協力体制の再構築、及び構成各機関が持つアセットを活用した輸出力強化への取組（マーケットインの商品開発支援等）

＊輸出支援７団体：農研機構、農林中金、九商連、中小機構、JETRO、九経連、九州経済産業局

- 「九州の食輸出協議会（事務局：九経連、九州経済産業局）」を受け皿にした地元食品等産業の伴走支援と、海外小売店での九州フェア開催（九州各県からの出品拡大）

【*KPI*】九州フェア開催５ヵ国･地域

〔地域共創委員会〕

具体的取組

③ 農業の持続的成長に向けた多様な担い手の確保と生産性向上支援

- 域外企業の九州農業への参入促進のため、課題解決に資するセミナー・シンポジウムを開催（経団連共催事業）

- 地域企業による農業参入モデルづくり
（企業研修への農業カリキュラム導入や援農アプリ活用による地域農業への人的支援）
【*KPI*】農業への労働力支援企業３社

- 耕作放棄地の活用モデルの検討

- 中山間地の営農に即したスマート農業の推進
（中山間地における九経連・農研機構「スマート農業導入モデル」（2023 年度実証）の九州各県への展開、中山間地農業存続の方向性提示）
【*KPI*】スマート農業導入モデル活用事例３件

〔地域共創委員会〕

具体的取組

④ 中大規模木造建築物の普及による林業活性化と CO2 削減への貢献

- 九経連「モクビル研究会」による木造ビル・建造木質化の推進　（九州各県と連携した木材サプライチェーンの構築、地元材による供給情報の集約･活用）
【*KPI*】木造非住宅の新規計画１件以上

重点戦略３　GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組

〔資源エネルギー･環境委員会〕

具体的取組

① 省エネ・脱炭素の早期実現に向けた更なる意識醸成

- 省エネ・脱炭素に関する講演会の実施、他団体との連携
- 水素・電化・メタネーションガスなど脱炭素技術の社会実装に向けた課題整理

〔資源エネルギー･環境委員会〕

具体的取組

② 地域脱炭素達成のための省エネ・脱炭素技術実装支援

- 省エネ・脱炭素技術を保有する企業と自治体のマッチングイベントの共催等による脱炭素先行地域の拡大
【*KPI*】選定地域３件／１回

〔資源エネルギー･環境委員会〕

具体的取組

③ GX 推進戦略に基づくエネルギー安定供給と脱炭素の取組実施

- ESG 投融資の拡大支援に資する県域を越えるプロジェクトの組成
【*KPI*】広域連携プロジェクトの組成（１件）
- 再エネの主力電源化や原子力の最大限活用、水素の利活用等、エネルギーの安定供給に向けた国への要望

- サーキュラーエコノミーやカーボンプライシングに関する課題整理

重点戦略４　産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

①　九州・大学発ベンチャー振興会議、九州・山口ベンチャーマーケット（KVM）等との連携による九州発スタートアップの魅力発信と支援

・ 九州発スタートアップの九州への定着を目的とした、九州域外からの資金調達支援

・ 「九州・大学発ベンチャー振興会議」や「九州・山口ベンチャーマーケット」等との連携による域外への九州発スタートアップの魅力発信

・ベンチャーキャピタルや投資ファンド等との連携及び支援

【*KPI*】資金調達率全国比 3.5％

重点戦略５　アジア地域諸国・世界との連携強化

〔総務国際部〕

具体的取組

①　MOU 締結先の企業と九経連会員企業との交流機会の提供

・ ベトナムへの経済交流ミッションの派遣（商業の中心地であるホーチミンをターゲットに、食や人材等の分野で経済交流を拡大）※2025 年 3 月予定

【*KPI*】ミッション参加企業 20 社 50 名

・ 国内外の媒体や各種会合等を活用した九州プロモーションセンターin ハノイ（KPC）のプロモーション活動の実施

【*KPI*】KPC 月平均来場者数 1,200 名

〔総務国際部〕

具体的取組

②　他団体と連携した MICE 等誘致支援

・ 「World One Health Congress 2028 福岡大会」など域内への国際会議誘致支援

重点戦略６　産学官連携による高度専門人材の育成支援

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

①　先導的 ICT 人材育成事業（インターンシップ）の推進と拡大に向けたスキーム策定

・ ICT 人材インターンシップ事業の九州広域展開に向けて、「（半導体企業を含む）受入企業・参加学生の拡大方法」「スキーム・運営方法」等の課題整理を行い、実施スキームを策定

【*KPI*】・インターンシップ参加 13 社/22 名　・九州広域への拡大スキームの策定

重点戦略７　九州地域の経済・産業の活性化による所得・給与向上の取組

〔経営企画室〕

具体的取組

①　適正な価格転嫁による成長と分配の好循環の実現

・ 九州地域戦略会議への九州経済四団体共同による取引適正化に向けた取組報告、及び九州各県による賃上げ企業への支援拡充の働きかけ

・ 九州の経済四団体との連携による、構造的賃上げに向けた広報周知活動の実施

【*KPI*】九州全県での支援制度拡充

重点戦略８　多様性・包摂性ある風土の醸成

〔地域共創委員会〕

具体的取組

①　ジェンダー主流化の取組

- 国による「年収の壁・支援強化パッケージ」（2023 年 10 月適用開始）を踏まえつつ、地方・九州目線でのジェンダー平等推進のためのあるべき法整備に関する提言

  【*KPI*】提言公表（12 月）

- 地域で活躍する女性リーダー育成とネットワーキングを目的とした、女性管理職ネットワーク「WE-Net 福岡」の九州一体となった取組への進化（2024 年中に「WE-Net 福岡」事務局を九経連へ移管）

  【*KPI*】WE-Net「九州」研修会スタート/第 11 期生（2025 年 1 月）

- 九経連活動への更なるダイバーシティ視点の取り込みのため、全ての委員会の企画部会等を対象に、会員企業の女性管理職（「WE-Net 福岡」修了生）の参画促進

  【*KPI*】女性管理職の参画 10 名以上

- 女性活躍推進のための施策間・地域間連携による、九州一体での女性活躍連携ネットワークづくり（女性活躍推進団体間の意見交換会の実施）

重点戦略９　ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進

〔交通委員会〕

具体的取組

①　インフラ整備の事業化及び事業の早期実現に向けた要望活動

- 地域の産業振興を目的として、基盤となるインフラ整備の強力な推進のため、事業化及び事業の早期実現に向けた活動（機運醸成・促進大会開催・要望活動）の実施

＜道　路＞ 循環型高速道路（高規格道路）の早期整備

東九州自動車道、九州中央自動車道、西九州自動車道、南九州西回り自動車道、有明海沿岸道路、中津日田道路、中九州横断道路、下関北九州道路、島原・天草・長島架橋構想など

＜空　港＞ 地域拠点空港としての確実な整備

福岡空港の滑走路処理容量拡大及び空港アクセスの向上、訪日誘客支援空港整備支援

＜鉄　道＞ 地域間格差の是正

西九州新幹線における新鳥栖駅～武雄温泉駅間の整備促進、東九州新幹線の整備計画路線への格上げ

＜港　湾＞ 国際拠点港湾としての機能向上と整備促進

＜地域交通及び物流機能維持・確保＞

地域交通の移動手段を維持・確保するための財政支援など

【*KPI*】要望事業の着実な整備進捗

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

②　オープンデータのデータ連携プラットフォーム構築の方向性決定とユースケースの創出・実装

- 「九州広域データ連携プラットフォーム（QDP）」の基盤整備の方向性について、QDP 検討会の委員（自治体・経済団体）と議論し、基盤整備の方向性を決定

  【*KPI*】データ連携基盤の在り方の決定

- オープンデータについて、実現性や成長性等を評価したユースケースを選出後、机上シミュレーションや PoC を実施し、実装に向けて課題を整理
  （例：防災・減災等）

  【*KPI*】実装するオープンデータ・ユースケースの決定

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組 ③ **デジタル認証 ID の検討とデータ連携プラットフォームを活用したユースケースの検討・決定**

- 複数のデジタル認証 ID のサービス比較（セキュリティ、利便性、運用性など）を検討・議論の上、QDP で用いるデジタル認証 ID を決定

【*KPI*】パーソナルデータ活用を実現する、デジタル認証 ID の決定

- パーソナルデータについて、実現性や成長性等を評価したユースケ―スを選出後、机上シミュレーションや PoC を実施し、実装に向けて課題を整理
（例：引越しワンストップサービス等）

【*KPI*】実装するパーソナルデータ・ユースケースの決定

〔交通委員会〕

具体的取組 ④ **九州 MaaS の推進**

- 「九州 MaaS 協議会」設立と、事務局としての業務遂行（補助金申請、各種契約、中期事業計画の策定、参画者拡大に向けた取組等）、ＷＧ活動や各県実行組織と連携したサービスの構築

【*KPI*】設立総会開催（4 月）

- “九州 MaaS”のサービス開始と、プロモーション活動、インバウンド向け商品等の新規商品の企画・設定の推進

【*KPI*】サービス開始（８月頃）

- 新しいモビリティ（自動運転等）の導入支援によるモビリティネットワーク構築の促進

重点戦略 10 地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援

〔地域共創委員会〕

具体的取組 ① **防災 DX の官民共創（災害対策高度化支援、防災対策サービスの官民共創、広域連携の仕組みづくり）**

- 災害時の道路･河川の状況共有や、県境をまたいだ避難所の相互利用など、災害情報活用における広域連携のための PoC 実施（災害情報活用プラットフォーム「PREIN」活用、「九州防災 DX タスクフォース」会員企業リソースによる情報 rich 化・出口サービスの検討）

【*KPI*】広域連携の実証 2 件以上

- 半導体関連産業を支える災害対策として、雷による瞬低・瞬停リスク低減のための落雷予測技術の有効性検証

【*KPI*】落雷危険度予測情報サービスの実証 5 社

- 「九州防災 DX タスクフォース」会員企業のリソースを活用したサービスの企画･検討（新たな防災領域や、パーソナルデータ活用によるサービス/QDP と連携）

【*KPI*】企画・PoC 準備 1 件

重点戦略 11　九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決

〔地域共創委員会〕

具体的取組

①　「ツール・ド・九州」 の開催とそれを活かした地域活性化

- 「ツール･ド･九州 2024」（10/11～14）実施・成功に向けた(一社)ツール･ド･九州の活動支援、及び持続可能な大会開催のための運営サポート

【*KPI*】　「ツール･ド･九州 2025」開催県拡大

- ツール･ド･九州をフックとした、開催自治体や各ステークホルダーによる地域活性化事業の協業サポート

【*KPI*】地域活性化事業の実施 x 開催 3 エリア

〔地域共創委員会〕

具体的取組

②　地域に根差した連携事業（産学官民協働）の展開

＜人材確保・活躍推進＞

- 副業人材活用や地域内での人材シェアなど、柔軟な働き方・雇用の多様性による都市人材と地域との「人材共有モデル」の事例共有と方向性整理（地域参事との協働）
- 若者の地元定着・九州への人材還流促進のため、高校の必修授業「総合的な探究の時間」を活用した、地元企業を知る機会創出に資する取組
  （探究学習プログラム「locus」活用、実施エリア拡大への推進体制の確立、
  業界を知るプログラムの実証）
- 「九州高度外国人材活躍地域コンソーシアム」（事務局：福岡県、JETRO 福岡、九州経済産業局）等との協働による、外国人材活躍による人材確保施策の推進

＜交流・関係人口拡大＞

- 地域資源の発掘・活用による、交流・関係人口拡大に向けた取組（特定エリアでのモデルづくり、九州国立博物館の活用 等）

【*KPI*】地域資源活用モデル創出 x 2 エリア

- 九州と本州の連携を強化し、関門地域の一体的発展を図るため、北九州市・下関市の広域連携を軸とした地域ブランド向上についての調査検討（関門連携委員会）

＜幸せコミュニティ推進＞

- 健康寿命の延伸や企業の健康経営推進に向けて、医療・健康のデータ連携によるモデル事業の企画・検討（次世代医療基盤法の活用によるヘルスケアサービス創出、パーソナルヘルスレコード活用による社員の自発的な健康増進の取組等）

【*KPI*】健康 DX 事業の企画・PoC 準備 1 件

＜各地域委員会＞

- 九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携事業
- 会員意見交換会や視察会等を通じ、各地域の産業構造の特色に応じた課題抽出と九経連活動への反映
- 会員相互の交流・連携の促進

Ⅳ　理事会・総会等の主要スケジュール

2024年

5 月	第 177 回理事会（8 日、福岡市）
6 月	第 45 回九州地域戦略会議（3～4 日、熊本市）
	第 64 回定時総会・第 178 回理事会（6 日、福岡市）
8 月	第 21 回九州地域戦略会議 夏季セミナー（6～7 日、山口市）
10 月	第 179 回理事会、理事・審議員合同会議（2 日、福岡市）
	第 66 回西日本経済協議会 総会（8 日、岐阜県下呂市） 及び要望活動（11 月 6 日、東京）
	第 46 回九州地域戦略会議（21～22 日、長崎市）
12 月	顧問会（ 9 日、東京）

2025年

1 月	正副会長･委員長会議（29 日、福岡市）
3 月	第 75 回九州経済懇談会（経団連との懇談会）（12 日、福岡市）
	第 180 回理事会（26 日、福岡市）

（付 1）　活動一覧（委員会、戦略会議、懇談会、事務局）

Ⅰ．委員会

(1)　資源エネルギー・環境委員会

2050 年のカーボンニュートラルの実現に向け、省エネ技術や脱炭素技術の幅広い展開を図り、九州からひとつでも多くの脱炭素先行地域指定を獲得するための取組支援を行い、九州における脱炭素に寄与する。

■省エネ技術や脱炭素技術の展開
① 脱炭素経営の先進的取組や脱炭素先行地域の拡大
② 省エネ・脱炭素技術を保有する企業と自治体のマッチングイベントの開催、取組支援

■GX 推進戦略に基づくエネルギー安定供給と脱炭素の取組実施
① ESG 投融資の拡大によるカーボンニュートラルの推進
② 再エネの主力電源化（洋上風力等）、原子力の最大限活用、水素の利活用等エネルギーの安定供給に向けた取組支援

(2)　産業振興・デジタル推進委員会

「九州将来ビジョン」の実現に向け、デジタル・グリーンを機軸に、産学官連携･地域連携によるイノベーションを通じて、九州における戦略産業の育成･振興、及び持続的な成長実現、生産性向上並びに地域課題解決･エコシステム構築を目指す。

■九州地域戦略会議と連携した「新生シリコンアイランド九州」の実現
① オール九州の観点からまちづくり等を含めて網羅的に課題を整理
② 半導体関連企業及び半導体ユーザー企業の誘致・育成支援

■航空宇宙産業の市場創出・拡大
① 九航協・第 3 次アクションプランの遂行
（九航協航空産業連絡会議、宇宙開発ビジネス交流会等）

■切れ目のないスタートアップ支援体制の構築
① ベンチャー成長段階別の切れ目のない支援プログラムの拡充・体制強化
② 各大学の強み・シーズを活用した地域の課題解決に資する活動強化

■各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援
① 九州全域での中堅・中小企業に対する DX 支援の推進

■産学官連携による高度専門人材の育成支援
① 先導的 ICT 人材育成事業（インターンシップ）の推進・拡大

■ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進
① オープンデータのデータ連携プラットフォーム構築とユースケースの実装
② デジタル認証 ID の構築とデータ連携プラットフォームを活用したパーソナルサービスの実装

(3)　地域共創委員会

地域の社会課題解決と魅力向上による「地方創生」に重点を置き、特定エリアを舞台とする実践的モデル事業と、九州の総意形成による九州一体の取組の両輪で事業を展開し、多様な人々が幸せを感じながら活躍できる、持続可能な地域づくりを目指す。

■地域の「稼ぐ力」を高める
① 食品の輸出拡大に向けた官民共同プロモーションによる各種輸出フェア等の連携実施
② 農業の持続的成長に向けた多様な担い手の確保と生産性向上支援
③ 中大規模木造建築物の普及による林業活性化と CO2 削減への貢献

■人の流れをつくる
① 「ツール･ド･九州」 の開催とそれを活かした地域活性化
② 地域に根差した連携事業の展開
（人材確保･活躍推進、交流･関係人口拡大）

■多様な人材が能力を発揮できる
① ジェンダー主流化の取組（法整備に関する提言、WE-Net 福岡との協働、九州一体での女性活躍連携ネットワークづくり）

■安心して暮らし続けられる
① 防災 DX の官民共創（災害対策高度化支援、防災対策サービスの官民共創、広域連携の仕組みづくり）
② 地域に根差した連携事業の展開
（幸せコミュニティ推進）

(4)　交通委員会

九州の一体的な発展を目指すため、「アジアに近い九州」という強みを活かし、観光・産業振興、アジアのゲートウェイとしての空港・港湾機能の向上、循環型高速交通網及び地域公共交通網の整備等を推進する。

■地域交通ネットワークの維持及び観光活性化に資する「九州 MaaS」の推進
① 「九州 MaaS 協議会」設立と、事務局としての業務遂行、WG活動や各県実行組織と連携したサービスの構築
② “九州 MaaS”のサービス開始と、プロモーション活動、インバウンド向け商品等の新規商品の企画・設定の推進
③ 新しいモビリティ（自動運転等）の導入支援によるモビリティネットワーク構築の促進

■域内交通基盤の着実な整備促進
① 東九州自動車道、下関北九州道路等、九州域内道路網に関する効果的な大会･要望活動

(5)　関門連携委員会

九州と本州の連携を強化し、関門地域の一体的発展を図るため、地域振興における発展戦略について調査・検討を進めるとともに、下関北九州道路の早期実現に向けた整備促進大会や要望活動を行う(中国経済連合会との合同委員会につき、同連合会との連携による)。

■関門連携による地域活性化

① 広域連携を軸とした地域ブランド向上についての調査検討

■関門地域内の交通基盤整備

① 二県二市、経済団体と連携した道路整備促進

(6)　各地域委員会

各地域の産業経済に関する諸問題を調査研究し、意見を取りまとめ、九経連全体としての活動に反映することにより、その解決、実現を図ることを目的として、地域に根差した魅力ある九経連活動を展開する。

■地域に根差した活動強化

① 九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携事業
② 講演会、視察会等による調査研究、会員意見交換会を通じ、各地域固有の課題の抽出と九経連活動への反映
③ 会員相互の交流・連携の促進

2．　九州地域戦略会議

(1)　九州地域戦略会議

官民一体となった九州独自の発展戦略の研究や具体的施策を推進する。

・メンバー：九州地方知事会（各県知事）、九経連会長及び会長が指名する者、九州商工会議所連合会会長及び会長の指名する副会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長
・テーマ　：「次期九州創生アクションプラン」の検討　他
・第 45 回会合：2024 年春／熊本県
・第 46 回会合：2024 年秋／長崎県

(2)　夏季セミナー

産官学のトップリーダーが一堂に会し、九州の発展に向けた共同体意識を醸成し、様々な課題について討議・提言を行う。

・メンバー：九州地方知事会（各県知事以下三役等）、域内大学学長、各県議会議長、経済４団体の会員企業　等
・第 21 回夏季セミナー：2024 年８月／山口県

3．　懇談会

(1)　沖縄連携フォーラム

沖縄県経済団体会議との共催により、九州・沖縄の連携と両地域の相互理解、共通課題について意見交換、検討を行うとともに、解決を図る。

・開催地：沖縄県

(2)　九州経済懇談会

日本経済団体連合会（経団連）との共催により、わが国並びに九州地域が当面する課題について、意見交換する。

・2025 年３月 12 日／福岡市

(3)　産学連携懇談会

九州の発展戦略や産学連携に関する諸課題について意見交換する。

・主要テーマ：「知」の拠点強化、共同研究・オープンイノベーション、課題解決型プロジェクト、地方創生、産業活性化、グローバル化、九州に求められる人材育成・確保　等
・2024 年４月 10 日／福岡市

(4)　九州経済を考える懇談会

九州の経済団体※の長が、九州経済の現状と重要課題について共有するとともに、課題の解決に向けた方向性について議論する（年２回程度）。

※九州の経済団体：九州経済連合会、九州オープンイノベーションセンター、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会、九州経済調査協会

４．　事務局

(1)　全体的な取組

① 九州がアジア等海外諸国の成長とともに発展するため、海外政府機関・経済団体との間で締結したMOU（11カ国・地域）等を活用し、九州の中小企業等の海外ビジネス展開の実現に向けた環境整備や対日投資の誘致、諸外国とのネットワーク強化を図る。
・「九州プロモーションセンターinハノイ(KPC)」を中核としたアセアン戦略の構築･実践
・オール九州の官民による海外ミッション派遣

② これまで以上に地域の情報を把握し課題解決につなげるため、各地域に「地域参事」（駐在担当者）を設置。地域課題と九州全体の戦略･動きを共有し、各委員会や九州地域戦略会議等を通じて実践的活動に取り組む。

(2)　会員サービス

① 事務局のデジタル化、並びにペーパーレス化を更に推進し、電子メールによるタイムリーな情報発信を行うとともに、各種案内への申込手続き等の利便性向上を図るなど会員との相互連絡を円滑にする。

② セミナーや懇談会等会員交流の場を増やしてビジネス創出につなげるなど、会員同士並びに事務局間の相互理解と一体感を醸成する。

③ ジェンダーギャップ解消と女性の活躍促進を図るため、九経連「九州女性の会」（会員企業の女性経営者及び女性管理職が参加）の活動を支援する。

④ 九経連の取組に関するアンケート等を適宜実施し、会員の声を事業計画（中期、単年度）などに反映し、実行に移していく。

(3)　広報

① 報道機関に対して、定期的、かつタイムリーな情報提供を行うなどPR強化を図る。

② ホームページや新着情報メールサービスの活用等により、活動実績や予定等をスピーディに提供することで発信力を強化し、本会活動への参画者増につなげる。

③ 九経連四季報を発行。特集ページを中心とした内容の充実などホームページとの差別化を図り、会員にとって役立つ情報誌とする。

(4)　調査・研究等

① 国内他地域ブロックや域内各県等の取組状況を把握し、県域を越えた連携や官民連携などの可能性を探る。

(5)　その他

① 地域の課題解決に貢献できる高い政策立案能力を持った人材育成に関する九州大学の取組に協力する。
（地域政策デザインスクール実行委員会）

（付２） 関連団体

(1) 西日本経済協議会

（2024 年度幹事：（一社）中部経済連合会
九経連内担当：総務国際部）

北陸、中部以西の６つの経済連合会※が連携して、西日本地域の共通の課題解決に向けた取組を展開するとともに、国等に要望する。
※6 つの経済連合会：北陸経済連合会、(一社)中部経済連合会、(公社)関西経済連合会、（一社）中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)九州経済連合会

■総会：2024 年 10 月８日／岐阜県下呂市
■要望：2024 年 11 月６日／東京

(2) 九州・沖縄地方産業競争力協議会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九州地方知事会、九州経済産業局、
九経連 経営企画室）

第 13 回協議会では、「九州・沖縄地方成長産業戦略～九州・沖縄 Earth 戦略Ⅱ～※」（目標年度 2025 年度）について、2022 年度以降のアクションプランやプロジェクトの進捗等について議論を行う。
※九州・沖縄が重点的に推進すべき事項と方向性を示す成長戦略の第２ステージとして、これまでの戦略４分野（①クリーン、②医療・ヘルスケア・コスメティック、③農林水産業・食品、④観光）のプロジェクトに、SDGs、先端技術、働き方改革、アフターコロナの視点を踏まえた横断的取組を推進。

(3) 福岡地域戦略推進協議会

（会長：九州経済連合会 名誉会長）

福岡地域戦略推進協議会（FDC）の活動※に経済界として参画し、意見出しや支援を行う。
※福岡都市圏を中心とした産学官民が一体となった公共的な場において、地域の成長戦略の策定から実施までを一貫して行う。

(4) 下関北九州道路建設促進協議会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 地域共創部）

関門地域の一体化と交流拡大、地域経済の活性化に寄与するため、下関北九州道路の早期実現に向けた活動を実施する。

(5) 東九州軸推進機構

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 地域共創部）

東九州地域の産業・経済をはじめとする地域社会の活性化を図るため、高規格幹線道路による循環型高速交通ネットワークの整備等に向けた活動などを実施する。

(6) 九州航空宇宙開発推進協議会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 産業振興部）

九州地域の航空機産業の育成・拡大と宇宙産業の創出を図るため、産学官が一体となって技術レベルの向上や受注獲得のためのアプローチ支援などを実施。設立 30 周年を迎え策定した第３次アクションプラン（2022 年７月）に基づき、今後取り組むべき事業・研究テーマについて展開する。

(7) 九州経済国際化推進機構

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 総務国際部、九州経済産業局）

九州経済のグローバル化に向け、九州経済産業局、九州各県・政令市、企業等との連携を図り、環黄海経済・技術交流会議（九州・中国・韓国の３カ国会議）の開催や、ベトナムへの経済交流ミッションの派遣など、海外との経済交流事業を実施する。

(8) 九州大学学術研究都市推進協議会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九州大学学術研究都市推進機構
九経連内担当：地域共創部）

九州大学学術研究都市構想の総仕上げに向けて産学官民がより一層連携し、新たなフェーズを迎える学術研究都市づくりを推進する。

(9) 九州の食輸出協議会

（会長：弓場秋信・弓場貿易㈱社長
事務局：九経連 地域共創部）

九州の生産者・食品製造業者等と九州に拠点を置く商社との連携や海外需要開拓に向けた協働を後押しし、九州の農林水産物及び食品等の輸出拡大を目指す。

(10)　九州国際医療機構

（代表理事：中村雅史・九州大学病院長
事務局：九経連 地域共創部）

九州の医療機関と産学官の連携により、外国人医療渡航者の九州誘致を目指す。この取組が、在留外国人へのサービス提供の質のさらなる向上へと相乗効果を生み、そして観光等への波及効果へとつなげることで、九州経済の活性化に寄与することを目指す。

(11)　知的財産権研究会

（事務局：九経連 産業振興部）

九州の産学官が一体となって知的財産権法をはじめとする様々な経済法の現状と課題について検討するため、毎月１回研究会を開催する。

(12)　九州ＤＸ推進コンソーシアム

（共同代表：九州経済連合会 会長、九州大学 総長
事務局：九経連 産業振興部、九州大学、福岡県、
デロイトトーマツグループ）

域内の自治体や企業、大学等、産学官金の関係者が一体となって、地域におけるデジタル人材の育成や、デジタル技術の活用による地域課題の解決と新たな産業の創造を推進し、持続可能な地域社会と経済発展の実現を目指す。

(13)　九州・沖縄文化力推進会議

（事務局：福岡県、九経連 地域共創部）

九州・沖縄・山口各地域における文化活動の推進と文化の発信による地域活性化に官民が連携して文化プログラムを実施する。特に、今後開催される大規模国際スポーツイベント等を見据え、国内外から訪れる観光客に対し、新型コロナウイルスへの対応も鑑みながら、九州・沖縄・山口の各種文化をＰＲしていくとともにエリア内の周遊を促す。

報告事項２－２

2024年度 収支予算

2024年4月1日から2025年3月31日まで　　（単位：円）

科　目	2024年度 予算額（A）	2023年度 予算額（B）	増 減 （A）-（B）	備 考
Ⅰ．事業活動収支の部				
１．事業活動収入				
基本財産収入				
特定資産運用収入				
特定資産運用収入	500,000	450,000	50,000	
入会金収入				
入会金収入	1,500,000	1,500,000	0	新入会目標30社
会費収入				
会費収入	295,520,000	294,770,000	750,000	入退会差引後
雑収入				
受取利息収入	10,000	10,000	0	
その他収入	1,350,000	1,350,000	0	
事業活動収入計（A）	**298,880,000**	**298,080,000**	**800,000**	
２．事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	104,700,000	106,100,000	△ 1,400,000	定期昇給、調整給は昨年度据置き
総会役員会費支出	7,200,000	5,700,000	1,500,000	会場費、パーティ費等増
会員懇談会費支出	5,300,000	4,800,000	500,000	会場費等増
委員会費支出	48,700,000	47,800,000	900,000	
調査費支出	4,800,000	2,000,000	2,800,000	ベトナムミッション等
刊行費支出	4,800,000	4,300,000	500,000	四季報ページ増
旅費交通費支出	9,400,000	9,400,000	0	
通信費支出	2,200,000	2,200,000	0	
図書資料費支出	1,000,000	1,000,000	0	
加盟団体費支出	2,500,000	2,500,000	0	
特別事業費支出	20,000,000	13,000,000	7,000,000	「ツール・ド・九州」事務所運営費
研修費支出	500,000	500,000	0	
交際費支出	500,000	600,000	△ 100,000	
印刷費支出	2,500,000	2,800,000	△ 300,000	ペーパレス推進
消耗品費支出	500,000	600,000	△ 100,000	
諸税支出	300,000	300,000	0	
雑支出	200,000	200,000	0	
事業費支出計（B）	**215,100,000**	**203,800,000**	**11,300,000**	
管理費支出				
役員報酬支出	19,000,000	19,000,000	0	
退職給付費支出	0	0	0	
福利厚生費支出	25,900,000	23,300,000	2,600,000	社会保険料積算
家賃支出	35,900,000	35,900,000	0	
備品費支出	10,000,000	9,000,000	1,000,000	ライセンス料追加
修繕費支出	11,000,000	1,900,000	9,100,000	事務所間仕切工事費、保守料
管理費支出計（C）	**101,800,000**	**89,100,000**	**12,700,000**	
事業活動支出計（D）=（B）+（C）	**316,900,000**	**292,900,000**	**24,000,000**	
事業活動収支差額（E）=（A）-（D）	**△ 18,020,000**	**5,180,000**	**△ 23,200,000**	

（単位：円）

科　目	2024年度 予算額（A）	2023年度 予算額（B）	増 減 （A）−（B）	備 考
Ⅱ．投資活動収支の部				
１．投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給与引当預金取崩収入	0	0	0	
運営準備引当預金取崩収入	20,000,000	0	20,000,000	特別事業費に充当
投資活動収入計（F）	**20,000,000**	**0**	**20,000,000**	
２．投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当預金取得支出	9,000,000	11,000,000	△ 2,000,000	充当分積み増し
減価償却引当預金取得支出	900,000	900,000	0	充当分積み増し
什器備品取得支出	5,000,000	0	5,000,000	共有ファイルサーバ入替
投資活動支出計（G）	**14,900,000**	**11,900,000**	**3,000,000**	
投資活動収支差額（H）=（F）−（G）	**5,100,000**	**△ 11,900,000**	**17,000,000**	
Ⅲ．財務活動収支の部				
１．財務活動収入				
借入金収入	―	―	―	
財務活動収入計	―	―	―	
２．財務活動支出				
借入金返済支出	―	―	―	
財務活動支出計	―	―	―	
財務活動収支差額	―	―	―	
Ⅳ．予備費支出				
予備費支出（I）	0	0	0	
当期収支差額（J）=（E）+（H）−（I）	**△ 12,920,000**	**△ 6,720,000**	**△ 6,200,000**	
前期繰越収支差額（K）	**74,373,824**	**107,569,095**	**△ 33,195,271**	
次期繰越収支差額（L）=（J）+（K）	**61,453,824**	**100,849,095**	**△ 39,395,271**	